

第2次出雲市環境基本計画の中間見直しについて

(概 要)

本市では、環境の将来像「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」の実現を目指して、本市の環境に係る総合的かつ中長期的な施策の方向、その他環境の保全及び創造の推進のため、平成25年(2013)3月に本計画を策定しました。

今年度、計画の中間目標値を設定していた平成29年度(2017)までの実績をもとに出雲市環境審議会で審議いただき、目標値等の見直しを行いましたので、その概要を報告します。

1 計画期間

平成25年度(2013)～平成34年度(2022)

2 基本目標

- ① 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち (生活環境)
- ② 人と自然がふれあい ともに生きるまち (自然環境)
- ③ 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち (快適環境)
- ④ 地球を考え 地域から実践するまち (地球環境)
- ⑤ 「もったいない」の心で築く 循環型のまち (循環型社会構築)
- ⑥ ともに学び行動する 環境意識が高いまち (環境保全活動)

3 中間見直し

計画に定めている44項目の数値目標について、平成34年度(2022)の最終目標値を既に達成した項目、中間目標値と実績値との間に乖離が生じている項目を中心に、目標値等の見直しを行いました。

- ① 継 続 (引き続き最終目標値達成に向けて取り組むもの) 25項目
- ② 改 正 (中間目標値と実績値との間に乖離が生じ、変更が必要なもの) 13項目
- ③ 廃 止 (施策の廃止等により実績値が把握できなくなったもの) 1項目
- ④ 参考指標 (市が事業主体でないため、実績値の把握のみ行うこととしたもの) 5項目

(次ページ以降の一覧表のとおり)

4 中間見直し後の目標値の適用期間

平成30年度(2018)～平成34年度(2022)

目標値達成状況及び最終目標値再設定一覧

1) 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち（生活環境）

1-1 大気環境の保全

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
大気汚染測定値 (SPM) (環境基準 0.10 mg/m ³)	0.015 mg/m ³ (H22 年度)	基準値内 (H28 年度)	基準値内	基準値内	基準値内	継続
公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率(導入台数)	1.5% (8 台)	3.2% (12 台)	10.6% (58 台)	19.6% (107 台)	100%	改正
	近年の自動車の低燃費技術の向上のため、「クリーンエネルギー車」から「低燃費かつ低排出ガス認定車」へ定義を改め、目標値も改正します。					

1-2 水環境の保全

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
類型指定河川水質の環境基準達成率 (BOD75%値)	100%	100%	100%	100%	100%	継続
類型未指定河川水質の市環境基準達成率 (BOD5 mg/ℓ 以下)	100%	91.6%	100%	100%	100%	継続
湖沼水質の環境基準達成率 (宍道湖、神西湖) (COD75%値)	0%	0%	100%	100%	100%	継続
海域水質 (海水浴場) の市基準達成率 (COD2 mg/ℓ 以下) (COD 平均値)	100%	100%	100%	100%	100%	継続
廃食油回収量	47,466ℓ	17,200ℓ	47,500ℓ	50,000ℓ	17,000ℓ	改正
	生活スタイルの変化により油類を使用しなくなった結果、年々、回収量は減少しています。今後も回収量が増加する見込みがないため、平成 29 年度実績値を維持することとし、目標値を改正します。					
汚水処理人口普及率	77.8%	86.6%	83.8%	87.9%	89.5%	改正
	「出雲市汚水処理施設整備計画 (既成計画)」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。					
水洗化率 (接続率)	86.6%	91.0	88.0%	89. %	93.5%	改正
	「出雲市汚水処理施設整備計画 (既成計画)」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。					

1-3 健康に暮らせる環境の保全

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
自動車騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	継続
航空機騒音の環境基準達成率	100% (22 年度)	100%	100%	100%	100%	継続
ダイオキシン類の環境基準達成率	100% (22 年度)	100% (H28 年度)	100%	100%	100%	継続

2) 人と自然がふれあい ともに生きるまち（自然環境）

2-1 野生動物との共生

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
ホタルの生息が確認された地区 の割合	49% (21 地区)	74% (32 地区)	51% (22 地区)	54% (23 地区)	80% (35 地区)	改正
	ホタルは種を問わず、良好な自然環境の指標として有効であることから、目標指標項目をゲンジボタルからホタル全種を対象とすることとし、目標値も改正します。					

2-2 豊かな自然とのふれあい

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
市主催の自然体験事業の参加者数	10,462 人	11,093 人	10,500 人	10,500 人	14,000 人	改正
	今後も、参加者増につながるようメニューの検討、広報等に努めることとし、目標値を改正します。					
自然体験市有施設の利用者数	118,655 人	111,710 人	124,700 人	130,800 人	130,800 人	継続
グリーンツーリズムの受入団体数	6 団体	8 団体	7 団体	8 団体	8 団体	継続

2-3 森林と農地の保全と再生

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
森林整備面積（累計）	40ha	167ha	150ha	170ha	170ha	継続
間伐等実施面積（累計）	420ha	1,084ha	700ha	720ha	1,400ha	改正
	今後も、市公有林及び民有林における間伐又は保育が適正に実施されていない森林を中心に間伐等を推進することとし、目標値を改正します。					
市産材取扱量	2,700 m ²	9,166 m ³	3,600 m ²	3,800 m ²	10,000 m ³	改正
	引き続き、森林組合及び林業事業者とともに、市産材を集荷・供給する仕組みづくりを進め、公共施設等における積極的な市産材利用を推進することとし、目標値を改正します。					
新規林業就業者数（累計）	1 人	11 人	10 人	12 人	12 人	継続
アグリビジネススクール卒業者数 （累計）	251 人	438 人	491 人	691 人	691 人	継続
学校給食における地場産品の利用割合	35%	56%	40%	45%	60%	改正
	これまで国が実施する地産地消調査の１７品目を対象としていましたが、本県での生産量が少ない品目（砂糖、種実類、油脂類など）を除いた県調査で用いる１１品目を対象とすることとし、目標値も改正します。					

3) 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち（快適環境）

3-1 景観保全緑地の確保

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
1人当たりの公園面積	16.7 m ²	17.1 m ²	16.8 m ²	17.0 m ²	17.0 m ²	継続

3-2 環境美化の推進

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一斉大作戦、不法投棄パトロールなど）の参加者数	9,618 人	12,102 人	13,000 人	14,000 人	14,000 人	継続
一斉清掃参加者数（海岸、宍道湖）	10,013 人	10,030 人	11,000 人	12,000 人	12,000 人	継続
美化サポートクラブ登録団体数	29 団体	39 団体	40 団体	50 団体	50 団体	継続

4) 地球を考え 地域から実践するまち（地球環境）

4-1 地球温暖化防止の取組

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
市の事務及び事業から発生するCO ₂ 排出量	8,616t-CO ₂	7,664t-CO ₂	7,997t-CO ₂	7,757t-CO ₂	7,500t-CO ₂	改正
引き続きCO ₂ の排出削減に努め、庁舎冷暖房の温度管理と温室管理、不要な照明の消灯など省エネルギーへの取組を徹底することとし、目標値を改正します。						
市有施設（事務部門）の電気使用量	10,935,200kwh	10,370,227kwh	10,115,200Kwh	9,732,300kwh	9,732,300kwh	継続
LED防犯灯の設置基数	401 基	3,308 基	1,888 基	3,138 基	5,800 基	改正
更なるLED化を推進することとし、目標値を改正します。						
エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数	884 世帯	—	1,000 世帯	1,000 世帯	—	廃止
県では、平成29年度（2017）以降登録世帯数が把握されていないため、この目標指標は廃止します。						
学校版エコライフチャレンジしまね登録小中学校割合	100%	100%	100%	100%	—	参考指標
県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。						
ISO14001、エコアクション21認証取得事業者数	34 事業所	39 事業所	40 事業所	50 事業所	—	参考指標
ISO14001、エコアクション21の認証取得に係る補助制度は、県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。						
再生可能エネルギー導入市有施設数	9 施設	14 施設	14 施設	16 施設	16 施設	継続

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数	0 人	339 人	100 人	100 人	150 人	改正
	引き続き、再生可能エネルギーに対する意識醸成を図るためのセミナーや市内にある再生可能エネルギー関連施設の見学会等を開催することとし、目標値を改正します。					

5)「もったない」の心で築く 循環型のまち（循環型社会構築）

5-1 廃棄物対策と資源循環の推進

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
ごみ排出量	62,632 t	60,230t	60,117 t	57,602 t	57,602t	継続
ごみ再資源化量	12,239 t	7,475 t	13,543 t	14,846 t	14,846 t	継続
ごみ最終処分量	9,104 t	8,863 t	8,539 t	7,973 t	7,973 t	継続
リサイクル団体回収補助登録団体数	90 団体	89 団体	100 団体	100 団体	100 団体	継続

5-2 環境と経済の好循環の推進

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
「しまねエコショップ」登録店舗数	32 団体	27 店舗	36 団体	40 団体	—	参考 指標
	県の施策であるため、目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。 ※県において「しまねエコショップ」は、業種を問わず環境にやさしい取組を実施する店舗を登録する制度へと見直しを行い、名称を「しまエコショップ」へ変更される予定です。変更後は「「しまエコショップ」登録店舗数」として、引き続き状況と実績値を把握します。					
「しまねグリーン製品」登録製品数	44 製品	48 製品	48 製品	52 製品	—	参考 指標
	県の施策であるため、目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。					

6)ともに学び行動する 環境意識が高いまち

6-1 環境学習・環境保全活動の推進

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
斐川環境学習センターの利用者数	3,841 人	4,609 人	4,000 人	4,000 人	5,000 人	改正
	魅力ある環境講座や教室等を企画し、ホームページや広報紙を通じて市民の利用を呼びかけ、更なる利用者増を目指して目標値を改正します。					
ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数	83 回	60 回	100 回	100 回	100 回	継続

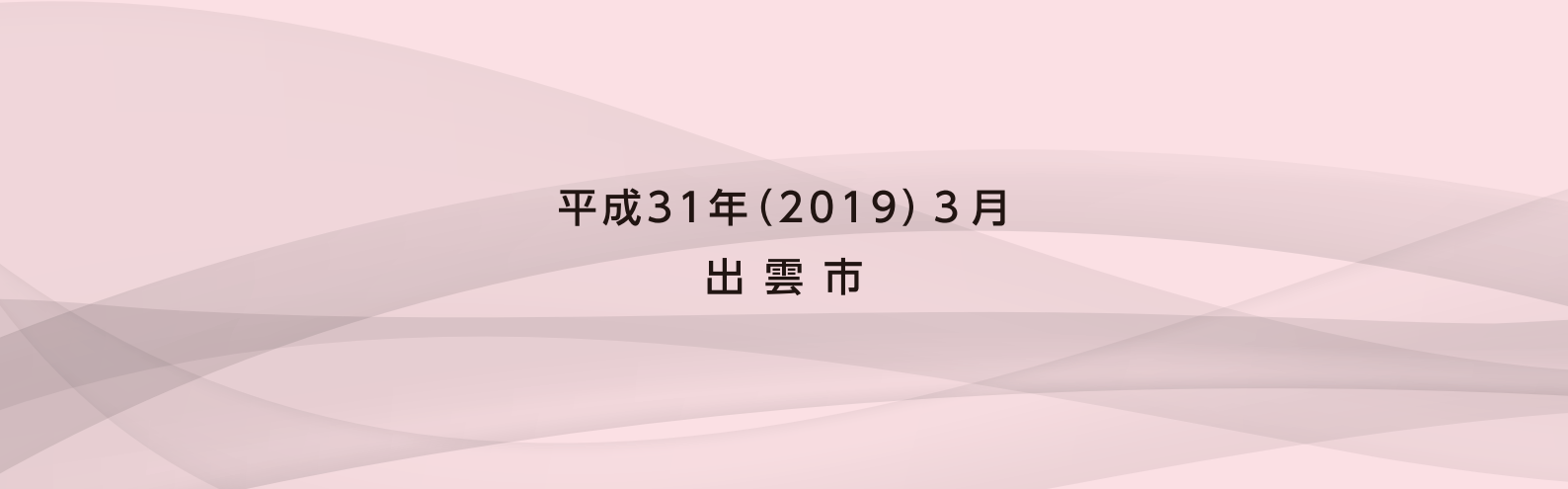
目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
こどもエコクラブ登録団体数	19 団体	9 団体	25 団体	30 団体	—	参考 指標
	公益財団法人日本環境協会の取組であるため、目標値は設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。					
6-2 環境情報の提供と共有						
目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	H29 年度 実績値	中間目標値 (H29 年度)	最終目標値 (H34 年度)	新目標値 (H34 年度)	区分
環境新聞発刊	6 回	年 24 回	30 回	40 回	40 回	継続



第2次出雲市環境基本計画 (中間見直し)

平成31年(2019)3月

出雲市



目 次

第1章 第2次出雲市環境基本計画の中間見直しに当たって

1. 国際社会と日本の環境政策の動向	1
2. 第2次出雲市環境基本計画の中間見直し	1
3. 見直しの基本的な考え方	1
4. 中間目標値の達成状況及び見直し	3

第2章 重点施策の推進

1. 重点施策

1) 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち

1-1 大気環境の保全	29
-------------	----

1-2 水環境の保全	29
------------	----

2) 人と自然がふれあい ともに生きるまち

2-2 豊かな自然とのふれあい	30
-----------------	----

5) 「もったいない」の心で築く 循環型のまち

5-1・2 廃棄物対策と資源循環の推進	30
---------------------	----

資 料

1. 目標値達成状況及び最終目標値再設定一覧	32
2. 出雲市の環境の現状	37
3. 出雲市環境審議会委員名簿	44

第1章 第2次出雲市環境基本計画の中間見直しに当たって

1. 国際社会と日本の環境政策の動向

東日本大震災による原子力発電施設の事故後、国のエネルギー政策の見直しにより、再生可能エネルギーへの転換をはじめとした環境施策への取組のほか、社会情勢や本市を取り巻く環境の変化に伴い、地球環境を守るために、廃棄物の削減や自然環境の保全などに引き続き取り組むことが求められています。

国際社会においては、平成28年（2016）11月に発効した地球温暖化対策の新たな国際的な枠組みである「パリ協定」のもとで、温室効果ガスの長期的な排出量削減に乗り出しています。我が国でも国連に提出した「日本の約束草案」において、温室効果ガス排出量を平成42年度（2030）に平成25年度（2013）比26.0%削減する目標を掲げています。

国では、平成30年（2018）4月に第五次環境基本計画が閣議決定され、パリ協定発効や国連持続可能な開発目標（SDGs）制定等の内容を盛り込み、持続可能な社会に向けた重点戦略を定めました。

こうした国等の環境政策の方向性を踏まえ、本市では「新たな出雲の国づくり計画『出雲未来図』後期基本計画」において、「環境先進都市の構築」を目指し「環境保全施策の推進」、「市民協働による一斉清掃等の実施」、「野生動植物との共生と自然環境保護」、「地球温暖化・省エネルギー対策」等の施策に取り組むこととしています。

2. 第2次環境基本計画の中間見直し

第2次出雲市環境基本計画は、出雲市環境基本条例第8条の規定に基づき、本市の環境に係る総合的かつ中長期的な施策の方向、その他環境の保全及び創造の推進を図り、環境の将来像「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」の実現を目指して、平成25年（2013）3月に策定しました。

この計画期間は、平成25年度（2013）から平成34年度（2022）までの10年間とし、第2次出雲市環境基本計画の目標達成に向けた施策の推進について、中間目標値を設定していた平成29年度（2017）までの実績を基に、平成30年度（2018）に中間見直しを行い平成30年（2018）4月から適用します。

3. 見直しの基本的な考え方

中間見直しであるため、出雲市の目指す環境の将来像、基本目標は継承することとし、これまでの施策の推進状況の検証を行うとともに、出雲市総合計画（「新たな出雲の国づくり計画『出雲未来図』後期基本計画」）、社会情勢の変化などを踏まえ、「最終目標値」を再設定し、施策の推進方法を一部見直します。

※注意書き：2019年5月から元号が変わる予定です。改元後の元号表記については、読替えることとします。

＜環境の将来像＞

「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」

「神話から未来へつなぐ」

出雲を象徴する国引き神話で語られる雄大な自然環境の創出、また、出雲の先人から脈々と受け継がれてきた「豊かな環境」や「もったいない心」などを確実に未来へ引き継いでいく決意をあらわしています。

「さわやかな環境のまち・出雲」

澄んだ空気やきれいな水、そして豊かな緑、人と人、人と自然との関わりなど、あらゆる面において「さわやかな環境のまち」を実現するため、環境に優しいまちづくりを行い、環境への先進的な取組を積極的に実施する「環境先進都市」を実現し、環日本海の玄関口として持続的に発展する「出雲」をめざしていくことをあらわしています。

＜基本目標＞

1. 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち
2. 人と自然がふれあい ともに生きるまち
3. 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち
4. 地球を考え 地域から実践するまち
5. 「もったいない」の心で築く 循環型のまち
6. とともに学び行動する 環境意識が高いまち

1. 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち（生活環境）

出雲市は、空気や川がきれいで公害のないまち、市民の安全・安心を守るまちをめざします。

2. 人と自然がふれあい ともに生きるまち（自然環境）

出雲市は、斐伊川や宍道湖、山や海などの豊かな自然を大きな財産とし、人と自然が共生するまちをめざします。

3. 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち（快適環境）

出雲市は、神話のふるさととして、歴史や文化など地域の特性を生かした潤いと安らぎのあるまちをめざします。

4. 地球を考え 地域から実践するまち（地球環境）

出雲市は、全ての市民が地球環境保全を自らの問題として認識し、一人ひとりの生活からそれを実践していくまちをめざします。

5. 「もったいない」の心で築く 循環型のまち（循環型社会構築）

出雲市は、常にものを大切にすることをもち、資源の循環を図り、環境への負担の少ない持続的発展が可能なまちをめざします。

6. とともに学び行動する 環境意識が高いまち（環境保全活動）

出雲市は、環境先進都市を創造していくため、市、市民、事業者が各自意識啓発を図り、連携して環境保全に取り組むまちをめざします。

4. 中間目標値の達成状況及び目標指標の見直し

平成24年度(2012)から平成29年度(2017)までの実績値により中間目標値達成状況を検証し、出雲市の環境の現状分析を行いました。

分析の方法は下記の手法により、各目標設定項目（中間・最終）について評価を行いました。

<評価基準>

- 中間目標値（最終目標値）を達成した。
- △ 中間目標値（最終目標値）を達成できなかったが、基準年度値より改善した。
- × 中間目標値（最終目標値）が達成出来ず、かつ、基準年度値より悪くなった。

<中間目標値達成状況の概要>

評価種類	該当項目数	該当割合
○項目	24 項目	54.5%
△項目	11 項目	25.0%
×項目	9 項目	20.5%

目標設定項目 44 項目中、○（中間目標値を達成した。）は 24 項目の 54.5%（うち、最終目標値も達成した項目が 19 項目の 43.2%）、△（中間目標値を達成できなかったが、基準年度値より改善した。）は 11 項目の 25.0%で、基準年度（平成 23 年度（2011））から改善した割合は 79.5%であり、本計画の施策推進により成果が現れています。

また、×（基準年度（平成 23 年度（2011））から悪くなった）は 9 項目の 20.5%となっています。社会情勢の変化への対応や、更なる啓発活動が求められます。

<目標指標の見直し>

中間目標値の達成状況や目標達成度の検証、計画策定以降の社会情勢を踏まえ、以下の方針に基づき、目標指標の見直しを行います。

- ①【継続】 目標の達成・未達成にかかわらず、今後も取組が必要なものについては、目標指標として継続します。
- ②【改正】 最終目標値を達成した目標設定項目及び計画策定（中間目標値）以降の社会情勢の変化等により、実績値と乖離した目標設定項目は最終目標値を見直します。
- ③【廃止】 施策の廃止等により、実績値の把握ができないものについては、指標項目から除外します。
- ④【参考指標】 市が事業主体の施策でないため、市の環境施策を推進することを目的とした本計画の目標指標として馴染まないものについては、目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。

～次ページ以降、目標設定項目ごとに実績を踏まえ見直しを行います～

1) 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち（生活環境）

1-1 大気環境の保全

【中間目標値達成状況】

○項目：「大気汚染測定値（SPM）」

△項目：「市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率」

【目標指標の見直し】

- 「大気汚染測定値（SPM）」は、【継続】して状況を把握します。
- 「市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率」は、クリーンエネルギー自動車の定義を改め、目標値も【改正】します。

(1) 大気汚染測定値（SPM）

大気汚染物質名		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
浮遊粒子状物質 (SPM)	年平均値(mg/m ³)	0.016	0.017	0.014	0.013	0.012	未	
	1日平均値(mg/m ³)	0.045	0.048	0.037	0.039	0.031	未	
	1時間値(mg/m ³)	0.107	0.103	0.085	0.081	0.062	未	
	基準年度値 (H23 年度)	年平均値(mg/m ³)		0.014				
		1日平均値(mg/m ³)		0.037				
		1時間値(mg/m ³)		0.123				
	中間目標値	→	→	→	→	→	基準値内	
	中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	未	
	最終目標値	→	→	→	→	→	→	基準値内
	最終目標値達成率	○	○	○	○	○	未	

資料 島根県環境生活部 大気汚染測定結果報告書

※参考基準（市独自基準）

- ・浮遊粒子状物質（SPM）：年平均値 0.10 mg/m³以下【本計画の基準値として適用】

※環境基準

- ・浮遊粒子状物質（SPM）：1時間値の1日平均値が 0.10 mg/m³以下で、かつ、1時間値が 0.20 mg/m³以下

＜現状分析＞

各年度、環境基準値内を達成しました。

大気汚染の防止については、今後も大気汚染防止法や県公害防止条例に基づき、関係機関と連携して監視と指導を行います。また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により禁止されている野外でのごみの焼却について、監視と指導を徹底します。

(2) 市公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率（導入台数）

		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
導入率（台数）	導入率 （導入台数）	1.7% (8 台)	2.8% (10 台)	2.8% (10 台)	2.9% (11 台)	3.2% (12 台)	3.2% (12 台)	
	基準年度値（H23 年度）	1.5% (8 台)						
	中間目標	→	→	→	→	→	10.6% (58 台)	
	中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	
	最終目標値	→	→	→	→	→	→	19.6% (107 台)
	最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

現行のクリーンエネルギー車の対象は、電気自動車、ハイブリッド車を対象としています。
電気自動車は、下記の3点の課題があり導入が進まない状況です。

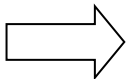
- ①充電設備が必要である。
- ②走行距離が限られる。
- ③電源供給を前提としており、災害時の活用が困難。

<目標指標の改正>

近年の自動車の低燃費技術の向上のため、クリーンエネルギー車に限らず、低燃費かつ低排出ガス認定車へ定義を改め、目標値も改正ます。

低燃費かつ低排出ガス認定車とは、

1. エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）に基づく燃費基準（トップランナー基準）を早期達成し、
2. かつ国土交通省の「低排出ガス車認定実施要領」に基づく低排出ガス認定を受けている自動車を言います。

現行導入率		変更後最終目標値
74%		100%

1-2 水環境の保全

【中間目標値達成状況】

○項目：「類型指定河川水質の環境基準達成率（BOD75%値）」

「海域水質（海水浴場）の市基準達成率（COD 2 mg/ℓ以下）」

「汚水処理人口普及率」、「水洗化率（接続率）」

×項目：「類型未指定河川水質の市基準達成率（BOD 5 mg/ℓ以下）」

「湖沼水質の環境基準達成率（宍道湖、神西湖）（COD75%値）」

「廃食油回収量」

【目標指標の見直し】

- 「類型指定河川水質の環境基準達成率（BOD75%値）」、「類型未指定河川水質の市基準達成率（BOD75%値）」、「湖沼水質の環境基準達成率（COD75%値）」、「海域水質（海水浴場）の市基準達成率（COD 平均値）」は、【継続】して状況を把握します。
- 「汚水処理人口普及率」は、「出雲市汚水処理施設整備計画（既成計画）」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を【改正】します。
- 「水洗化率（接続率）」は、最終目標値を達成しているため、目標値を【改正】します。
- 「廃食油回収量」は、生活スタイルの変化や健康志向等の社会情勢の変化に伴い、家庭で油類を消費することが少なくなったため、目標値を【改正】します。

(1) 類型指定河川水質の環境基準達成率（BOD75%値）

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
達 成 率	71%	85.7%	85.7%	100%	100%	100%	
基準年度値（H23 年度）	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	×	×	×	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成率	×	×	×	○	○	○	

※参考

水域名		環境基準			H24	H25	H26	H27	H28	H29
		類型	基準値	地点数						
斐伊川	本川	A A	1 mg/ℓ以下	2	0.6	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6
神戸川	上流	A A	1 mg/ℓ以下	2	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	0.9
	下流	A	2 mg/ℓ以下	2	1.1	0.6	0.6	1.0	0.9	0.8
平田船川	上流	A	2 mg/ℓ以下	1	1.1	0.6	0.8	1.0	1.7	1.7
	下流	A	2 mg/ℓ以下	1	2.4	1.8	1.6	1.4	2.0	1.3
湯谷川	上流	A	2 mg/ℓ以下	1	1.5	1.1	1.3	1.3	1.5	1.0
	下流	A	2 mg/ℓ以下	1	1.5	1.2	1.2	1.2	1.4	0.8

＜現状分析＞

河川の水質は、下水道の整備や合併浄化槽の普及に伴って改善されてきており、平成27年度（2015）以降全ての河川において環境基準を達成しました。

今後も水質浄化に関する啓発を進め、公共下水道や農業集落排水、合併浄化槽などの排水処理施設の整備を進めます。

(2) 類型未指定河川水質の市環境基準達成率 (BOD5 mg/ℓ 以下)

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
達 成 率	100%	100%	100%	100%	100%	91.6%	
基準年度値 (H23 年度)	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	×	

※参考

河川名	環境基準		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	類型	基準値						
山王川	C	5mg/ℓ以下	1.7	1.4	1.6	1.7	1.8	1.6
論田川	C	5mg/ℓ以下	1.3	1.2	1.3	1.6	1.4	1.0
小境川	C	5mg/ℓ以下	2.1	1.2	1.5	1.0	1.8	1.0
新内藤川	C	5mg/ℓ以下	2.0	2.3	2.0	2.1	2.8	2.3
赤川	C	5mg/ℓ以下	4.8	1.9	2.8	2.1	2.2	1.9
新町下水	C	5mg/ℓ以下	1.7	1.0	1.2	0.8	1.2	0.9
古井手川	C	5mg/ℓ以下	4.3	4.0	4.0	3.8	4.5	5.1
十間川	C	5mg/ℓ以下	1.3	0.7	1.1	0.9	1.1	0.9
保知石川	C	5mg/ℓ以下	1.9	1.6	2.0	2.0	2.3	2.0
九景川農業排水路	C	5mg/ℓ以下	1.8	1.8	1.6	1.3	1.7	1.3
姉谷川	C	5mg/ℓ以下	1.5	2.0	1.6	1.2	1.7	1.1
常楽寺川	C	5mg/ℓ以下	1.6	1.1	1.3	1.3	1.7	1.2

<現状分析>

これまで各河川とも環境基準値を達成していましたが、平成29年度(2017)に古井手川(冬季の水質検査)で環境基準値を超過しました。

今後も水質浄化に関する啓発を進め、公共下水道や農業集落排水、合併浄化槽などの排水処理施設の整備を進めます。

(3) 湖沼水質の環境基準達成率 (宍道湖、神西湖) (COD75%値)

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
達 成 率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
基準年度値 (H23 年度)	0%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	

※参考

水域名	環境基準		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	類型	基準値						
宍道湖	A	3 mg/ℓ以下	6.5	5.7	4.9	4.7	5.0	4.9
神西湖	B	5 mg/ℓ以下	6.1	7.1	6.6	6.1	5.3	5.7

<現状分析>

2湖沼は環境基準を達成していませんが、宍道湖のCOD75%値は近年ほぼ横ばいであり、神西湖においては平成26年度(2014)から数値の改善がみられます。今後も島根県の「第6期宍道湖・中海湖沼水質保全計画」、「神西湖水環境保全指針」に基づく水環境保全の取組を推進します。

(4) 海域水質（海水浴場）の市基準達成率（COD2 mg/ℓ 以下）（COD 平均値）

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
達 成 率	83%	100%	100%	100%	100%	100%	
基準年度値(H23 年度)	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	×	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	×	○	○	○	○	○	

※参考

水域名	環境基準		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	類型	基準値						
おわし海水浴場	A	2 mg/ℓ以下	2.0	1.7	1.8	1.9	1.9	1.9
キララビーチ	—	2 mg/ℓ以下	1.4	1.6	1.4	1.3	1.4	1.5
河下海水浴場	—	2 mg/ℓ以下	1.8	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5
猪目海水浴場	—	2 mg/ℓ以下	1.9	1.6	1.6	1.7	1.8	1.4
稲佐の浜海水浴場	—	2 mg/ℓ以下	1.9	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3
田儀海水浴場	—	2 mg/ℓ以下	2.2	1.5	1.4	1.4	1.6	1.6

＜現状分析＞

平成 25 年度(2013)から環境基準を達成しています。今後も河川からのごみ、汚濁物質の流出を防止し、水質の改善に努めます。

(5) 廃食油回収量

年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
回 収 量	35,077ℓ	33,335ℓ	32,147ℓ	20,819ℓ	19,062ℓ	17,200ℓ	
基準年度値(H23 年度)	47,466ℓ						
中間目標値	→	→	→	→	→	47,500ℓ	
中間目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	50,000ℓ
最終目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	

＜現状分析＞

回収量は、年々減少しています。

生活スタイルの変化や健康志向により、家庭で油類を消費することが少なくなったことにより、回収量が減少したと考えられます。

＜目標指標の改正＞

上記の理由により、回収量の増加が見込まれないため、平成 29 年度(2017)実績値を維持する方針とし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
50,000 ℓ		17,000 ℓ

(6) 汚水処理人口普及率

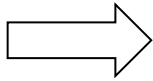
年 度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
汚水処理人口普及率	78.1%	83.7%	84.7%	85.4%	86.1%	86.6%	
基準年度値(H23 年度)	77.8%						
中間目標値	→	→	→	→	→	83.8%	
中間目標値達成状況	△	△	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	87.9%
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

＜現状分析＞

年々、汚水処理人口普及率は上昇し、平成 26 年度(2014)には中間目標値を達成しました。

＜目標指標の改正＞

今後も、「出雲市汚水処理施設整備計画（既成計画）」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
87.9%		89.5%

(7) 水洗化率（接続率）

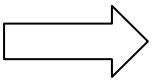
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
水洗化率（接続率）	87.9	88.0	88.8	89.8	90.4	91.0	
基準年度値(H23 年度)	86.6%						
中間目標値	→	→	→	→	→	88.0%	
中間目標値達成状況	×	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	89.0%
最終目標値達成状況	×	×	×	○	○	○	

＜現状分析＞

水洗化率は年々上昇し、平成 25 年度(2013)には中間目標値に達成し、さらに、平成 27 年度(2015)には最終目標値も達成しました。

＜目標指標の改正＞

今後も、「出雲市汚水処理施設整備計画（既成計画）」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
89.0%		93.5%

1-3 健康に暮らせる環境の保全

【中間目標値達成状況】

○項目：「自動車騒音の環境基準達成率」

「航空機騒音の環境基準達成率（WECPNL 値 75 以下）」

「ダイオキシン類の環境基準達成率」

△・×項目：なし

【目標指標の見直し】

●「自動車騒音の環境基準達成率」、「航空機騒音の環境基準達成率（WECPNL 値 75 以下）」、「ダイオキシン類の環境基準達成率」は、【継続】して状況を把握します。

(1) 自動車騒音の環境基準達成率

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
環境基準達成率	99.8%	99.3%	100%	100%	100%	100%	
基準年度値 (H23 年度)	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	×	×	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	×	×	○	○	○	○	

※参考

年 度	路線名	評価区間開始点～終点	評価対象 戸 数	環境基準 達成戸数	環境基準 達 成 率
H24 年度	一般国道 9 号	大津町 ～ 今市町	177 戸	177 戸	100%
	一般国道 431 号	小境灘 ～ 平田新田	153 戸	152 戸	99.3%
	県道斐川出雲大社線	武志町 ～ 稲岡町	145 戸	145 戸	100%
		合 計	475 戸	474 戸	99.8%
H25 年度	一般国道 9 号	神西沖町 ～ 多伎町久村	240 戸	237 戸	98.8%
	一般国道 184 号	渡橋町 ～ 塩冶町	377 戸	377 戸	100%
	県道十六島直江停車場線	斐川町島田 ～ 斐川町直江	101 戸	99 戸	98.0%
		合 計	718 戸	713 戸	99.3%
H26 年度	一般国道 9 号	斐川町荘原 ～ 斐川町併川	458 戸	458 戸	100%
	一般国道 184 号	塩冶町 ～ 朝山町	369 戸	369 戸	100%
	斐川出雲大社線	高岡町 ～ 大社町北荒木	115 戸	115 戸	100%
		合 計	942 戸	942 戸	100%
H27 年度	一般国道 9 号	斐川町直江 ～ 斐川町学頭	123 戸	123 戸	100%
	一般国道 184 号・出雲大社線	今市町 ～ 高松町	122 戸	122 戸	100%
	矢尾今市線	今市町 ～ 高岡町	136 戸	136 戸	100%
		合 計	381 戸	381 戸	100%
H28 年度	一般国道 9 号	高松町 ～ 大島町	60 戸	60 戸	100%
	県道十六島直江停車場線	西代町 ～ 西郷町	13 戸	13 戸	100%
	県道多伎江南出雲線	今市町 ～ 塩冶神前	308 戸	308 戸	100%
		合 計	381 戸	381 戸	100%
H29 年度	一般国道 184 号	斐川町併川 ～ 大津町	215 戸	215 戸	100%
	斐川出雲大社線	斐川町名島 ～ 高岡町	120 戸	120 戸	100%
	一般国道 431 号	小境灘 ～ 平田新田	127 戸	127 戸	100%
		合 計	462 戸	462 戸	100%

＜現状分析＞

自動車騒音については、「自動車騒音常時監視5カ年計画」に基づき調査を実施しています。平成26年度(2014)以降の測定路線では、環境基準を達成しています。引き続き、騒音、振動等の発生源への監視や指導を徹底します。

(2) 航空機騒音の環境基準達成率（WECPNL 値 75 以下）

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
基準年度値(H22 年度)	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	

＜現状分析＞

環境基準を達成しています。今後も県と連携を図りながら、環境基準監視や発生源対策、公害苦情対応を進めます。

(3) ダイオキシン類の環境基準達成率

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	未	
基準年度値（H22 年度）	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	未	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	未	

※参考

観測地点			H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
大 気			1 地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点
公 共 水 域	水質	河川	2 地点	—	—	2 地点	1 地点	—
		海域	—	—	—	—	—	
	底質	河川	2 地点	—	—	2 地点	1 地点	—
		海域	—	—	—	—	—	—
地下水			1 地点	1 地点	1 地点	2 地点	1 地点	1 地点
土 壌			—	—	2 地点	1 地点	1 地点	1 地点

＜現状分析＞

ダイオキシン類は、微量でも人の健康に有害な影響を及ぼすおそれのある物質で、出雲保健所においてダイオキシン類対策特別措置法に基づき常時監視を行っています。今後も関連法に基づき監視します。

2) 人と自然がふれあい ともに生きるまち（自然環境）

2-1 野生動物との共生

【中間目標値達成状況】

○項目：「ゲンジボタルの生息が確認された地区の割合」

【目標指標の見直し】

- 「ゲンジボタルの生息が確認された地区の割合」は、種をゲンジボタルに限らずハイケボタルなどの全種を対象とすることとし、目標値も【改正】します。

ホタルの生息が確認された地区の割合

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
生息地区の割合	49% (21 地区)	49% (21 地区)	70% (30 地区)	70% (30 地区)	74% (32 地区)	74% (32 地区)	
基準年度値(H23 年度)	49% (21 地区)						
中間目標値	→	→	→	→	→	51% (22 地区)	
中間目標値達成状況	×	×	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	54% (23 地区)
最終目標値達成状況	×	×	○	○	○	○	

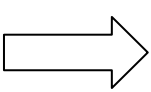
<現状分析>

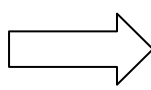
H26 年度(2014)以降、中間目標値と最終目標値を達成しています。

引き続き、状況把握を行います。

<目標指標の改正>

ホタルは種を問わず、良好な自然環境の指標として有効であることから、目標指標項目をゲンジボタルからホタル全種を対象とすることとし、目標値も【改正】します。

現行目標指標項目		変更後目標指標項目
ゲンジボタルの生息が確認された地区の割合		ホタルの生息が確認された地区の割合

現行最終目標値		変更後最終目標値
54% (23 地区)		80% (35 地区)

2-2 豊かな自然とのふれあい

【中間目標値達成状況】

○項目：「市主催の自然体験事業の参加者数」
「グリーンツーリズムの受入団体数」

×項目：「自然体験市有施設の利用者数」

【目標指標の見直し】

- 「自然体験市有施設の利用者数」、「グリーンツーリズムの受入団体数」は、【継続】して状況を把握します。
- 「市主催の自然体験事業の参加者数」は、更に参加者増につながる取組を推進することとし、目標値を【改正】します。

(1) 市主催の自然体験事業の参加者数

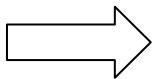
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
参加者数	10,882 人	11,885 人	11,808 人	13,750 人	11,357 人	11,093 人	
基準年度値 (H23 年度)	10,462 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	10,500 人	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	10,500 人
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	

＜現状分析＞

市の施設において、さまざまな自然体験事業を実施しています。

＜目標指標の改正＞

今後も、参加者増につながるようメニューの検討、広報等に努めることとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
10,500 人		14,000 人

(2) 自然体験市有施設の利用者数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
利用者数	112,406 人	134,879 人	98,228 人	103,598 人	111,300 人	111,710 人	
基準年度値 (H23 年度)	118,655 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	124,700 人	
中間目標値達成状況	×	○	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	130,800 人
最終目標値達成状況	×	○	×	×	×	×	

※参考＜自然体験市有施設＞

うさぎ森林公園・目田森林公園・見晴らしの丘公園・風の子楽習館・浜遊自然館・わかあゆの里
天王山キャンプ場・飯の原農村公園（吉栗の郷）

＜現状分析＞

自然体験市有施設8施設において、今後、更に利用者増につながるよう魅力的なイベントを開催するとともに、様々なツールを積極的に活用し、情報発信に努めます。

(3) グリーンツーリズムの受入団体数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
受入団体数	6 団体	6 団体	9 団体	9 団体	8 団体	8 団体	
基準年度値(H23 年度)	6 団体						
中間目標値	→	→	→	→	→	7 団体	
中間目標値達成状況	△	△	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	8 団体
最終目標値達成状況	△	△	○	○	○	○	

※参考〈受入団体〉

出雲古志古民家塾・一縁荘須佐の縁我逢人・伊藤農園いちじく畑の家・稗原やまびこ農園
 優生の郷 美笑縁・鵜鷺げんきな会・NPO 法人ふるさとつなぎ・たまちハウス

＜現状分析＞

平成 26 年度(2014)には、中間目標値と最終目標値を達成しました。しかしながら、近年の団体数は横ばい傾向にあります。今後も受入団体の維持・増加に努めます。

2-3 森林と農地の保全と再生

【中間目標値達成状況】

- 項目：「森林整備面積」（累計）
「間伐等実施面積」（累計）
「市産材取扱量」
「新規林業就業者数」（累計）
「学校給食における地場産品の使用割合」

△項目：「アグリビジネススクール累計修了者数」

【目標指標の見直し】

- 「森林整備面積」、「新規林業就業者数」、「アグリビジネススクール累計修了者数」は、【継続】して状況を把握します。
- 「間伐等実施面積」、「市産材取扱量」は、最終目標値を達成していることから、更に取組を推進するため目標値を【改正】します。
- 「学校給食における地場産品の使用割合」は、県が実施する地産地消調査で用いる11品目を対象とすることとし、目標値を【改正】します。

(1) 森林整備面積

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
面積	60ha	92ha	107ha	122ha	144ha	167ha	
基準年度値(H23 年度)	40ha						
中間目標値	→	→	→	→	→	150ha	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	170ha
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

＜現状分析＞

森林整備面積は、着実に増加しています。

今後も、市、市民、事業者が連携し、一体となった取組を推進するとともに、森林の適正な管理に努めます。

(2) 間伐等実施面積

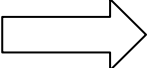
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
面積	480ha	631ha	751ha	885ha	985ha	1,084ha	
基準年度値(H23 年度)	420ha						
中間目標値	→	→	→	→	→	700ha	
中間目標値達成状況	△	△	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	720ha
最終目標値達成状況	△	△	○	○	○	○	

＜現状分析＞

平成26年度(2014)には中間目標値、最終目標値とも達成しました。

＜目標指標の改正＞

今後も、市公有林及び民有林における間伐又は保育が適正に実施されていない森林を中心に間伐等を推進することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
720ha		1,400ha

(3) 市産材取扱量

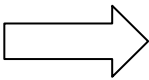
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
取扱量	3,000 m ³	16,400 m ³	16,500 m ³	26,463 m ³	6,531 m ³	9,166 m ³	
基準年度値 (H23 年度)	2,700 m ³						
中間目標値	→	→	→	→	→	3,600 m ³	
中間目標値達成状況	△	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	3,800 m ³
最終目標値達成状況	△	○	○	○	○	○	

<現状分析>

平成25年度(2013)には中間目標値と最終目標値とも達成しました。

<目標指標の改正>

引き続き、森林組合及び林業事業体とともに、市産材を集荷・供給する仕組みづくりを進め、公共施設等における積極的な市産材利用を推進することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
3,800 m ³		10,000 m ³

(4) 新規林業就業者数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
人 数	5 人	6 人	6 人	7 人	9 人	11 人	
基準年度値 (H23 年度)	1 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	10 人	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	12 人
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

年々増加傾向にあり、平成29年度(2017)には中間目標値を達成しました。

引き続き、就業者の増加に努めます。

(5) アグリビジネススクール累計修了者数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
累計修了者数	285 人	314 人	345 人	372 人	406 人	438 人	
基準年度値 (H23 年度)	251 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	491 人	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	691 人
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

年々増加傾向にありますが、中間目標値は達成できませんでした。

引き続き、人材確保に努めます。

(6) 学校給食における地場産品の使用割合

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
使用割合	35%	35.9%	39%	40%	42%	56%	
基準年度値(H23 年度)	35%						
中間目標値	→	→	→	→	→	40%	
中間目標値達成状況	△	△	△	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	45%
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	○	

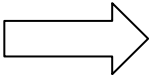
<現状分析>

年々使用割合は増加しています。平成27年度(2015)には中間目標を達成し、平成29年度(2017)に最終目標値を達成しました。

地元産食材の活用にあたっては、需要と供給のバランスが重要なことから、関係団体で組織する「学校給食マッチング会議」の中で、密接な情報交換を図ります。

<目標指標の改正>

これまで国が実施する地産地消調査の17品目を対象としていましたが、本県での生産量が少ない品目(砂糖、種実類、油脂類など)を除いた県調査で用いる11品目を対象とすることとし、目標値も【改正】します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
45%		60%

3) 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち（快適環境）

3-1 景観保全緑地の確保

【中間目標値達成状況】

○項目：「1人あたりの公園面積」は、中間目標値、最終目標値とも達成しました。

【目標指標の見直し】

●「1人あたりの公園面積」は、【継続】して状況を把握します。

1人あたりの公園面積

目標設定項目	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H34年度
1人あたりの公園面積	16.8㎡	16.8㎡	16.9㎡	17.0㎡	17.0㎡	17.1㎡	
基準年度値(H23年度)	16.7㎡						
中間目標値	→	→	→	→	→	16.8㎡	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	17.0㎡
最終目標値達成状況	△	△	△	○	○	○	

<現状分析>

近年は横ばい傾向ですが、平成27年度(2015)には、中間目標値、最終目標値とも達成しました。本市は微増ながら人口が増加していますが、公園面積も今後、微増が見込めるため、最終目標値は達成できる見込みです。

3-2 環境美化の推進

【中間目標値達成状況】

△項目：「市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど）の参加者数」
「一斉清掃参加者数」
「美化サポートクラブ登録団体数」

【目標指標の見直し】

●「市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど）の参加者数」、「一斉清掃参加者数」、「美化サポートクラブ登録団体数」は、【継続】して取組を推進します。

(1) 市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど）の参加者数

目標設定項目	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H34年度
参加者数	11,331人	12,367人	13,036人	14,827人	14,718人	12,102人	
基準年度値(H23年度)	9,618人						
中間目標値	→	→	→	→	→	13,000人	
中間目標値達成状況	△	△	○	○	○	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	14,000人
最終目標値達成状況	△	△	△	○	○	△	

<現状分析>

平成27年度(2015)、平成28年度(2016)は、中間目標値を達成しましたが、平成29年度(2017)は達成できませんでした。引き続き「出雲市ポイ捨て禁止推進協議会」を中心に啓発活動を推進します。

(2) 一斉清掃参加者数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
参加者数	10,553 人	7,971 人	8,876 人	10,140 人	10,150 人	10,030 人	
基準年度値(H23 年度)	10,013 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	11,000 人	
中間目標値達成状況	△	×	×	△	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	12,000 人
最終目標値達成状況	△	×	×	△	△	△	

＜現状分析＞

近年の参加者数は横ばい傾向にあり、目標指標値は達成できませんでした。
今後も、広報等により市民一斉クリーンデー等の参加拡大を図ります。

(3) 美化サポートクラブ登録団体数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
登録団体数	34 団体	35 団体	32 団体	32 団体	31 団体	39 団体	
基準年度値(H23 年度)	29 団体						
中間目標値	→	→	→	→	→	40 団体	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	50 団体
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

＜現状分析＞

年々増加傾向にありますが、わずかに目標指標値には達しませんでした。
引き続き、自主的に美化活動を行っている団体等に加入促進を図ります。

4) 地球を考え 地域から実践するまち（地球環境）

4-1 地球温暖化防止の取組

【中間目標値達成状況】

○項目：「市の事務及び事業から発生する CO₂排出量」

「LED 防犯灯の設置基数」

「学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合」

「再生可能エネルギー導入市有施設数」

「再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数」

△項目：「市有施設（事務部門）の電気使用量」

「エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数」

「ISO14001、エコアクション 21 認証取得事業所数」

【目標指標の見直し】

- 「市有施設（事務部門）の電気使用量」、「再生可能エネルギー導入市有施設数」は、【継続】して取組を推進します。
- 「市の事務及び事業から発生する CO₂排出量」は、省エネルギーへの取組を徹底することとし、目標値を【改正】します。
- 「LED 防犯灯の設置基数」、「再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数」は、最終目標値を達成していることから、更に取組を推進するため目標値を【改正】します。
- 「エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数」（県事業）は、登録数が把握されていないため、【廃止】します。
- 「学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合」、「ISO14001、エコアクション 21 認証取得事業所数」は、県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

(1) 市の事務及び事業から発生する CO₂ 排出量

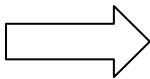
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
排出量	8,858t-CO ₂	7,908t-CO ₂	7,763t-CO ₂	7,528t-CO ₂	7,485t-CO ₂	7,664t-CO ₂	
基準年度値(H23 年度)	8,616t-CO ₂						
中間目標値	→	→	→	→	→	7,997t-CO ₂	
中間目標値達成状況	×	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	7,757t-CO ₂
最終目標値達成状況	×	△	△	○	○	○	

<現状分析>

平成 25 年度(2013)から中間目標値を達成し、平成 27 年度(2015)には最終目標値を達成しました。

<目標指標の改正>

引き続き CO₂の排出削減に努め、庁舎冷暖房の温度管理と温室管理、不要な照明の消灯など省エネルギーへの取組を徹底することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
7,757t- CO ₂		7,500t- CO ₂

(2) 市有施設（事務部門）の電気使用量

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
使用量	10,839,907 kWh	10,348,200 kWh	10,071,713 kWh	9,953,540 kWh	10,199,851 kWh	10,370,227 kWh	
基準年度値 (H22 年度)	10,935,200kWh						
中間目標値	→	→	→	→	→	10,115,983 kWh	
中間目標値達成状況	△	△	○	○	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	9,732,300 kWh
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

施設で使用するエネルギーを重油から CO₂排出量の少ない電力に移行したことで、電気使用量が増加しました。また、気象条件により冷暖房機の使用割合が増減しています。

(3) LED 防犯灯の設置基数

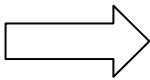
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
基 数	566 基	810 基	1,346 基	1,794 基	2,506 基	3,308 基	
基準年度値 (H23 年度)	401 基						
中間目標値	→	→	→	→	→	1,888 基	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	3,138 基
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	○	

<現状分析>

平成 28 年度(2016)に中間目標値を達成し、平成 29 年度(2017)には最終目標値を達成しています。引き続き、市が管理する防犯灯のLED化や、町内会等が設置するLED防犯灯への支援を行います。

<目標指標の改正>

更なるLED化を推進することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
3,138 基		5,800 基

(4) エコライフチャレンジしまね（環境家計簿）登録世帯数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
世帯数	894 世帯	898 世帯	902 世帯	904 世帯	904 世帯	—	
基準年度値 (H23 年度)	884 世帯						
中間目標値	→	→	→	→	→	1,000 世帯	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	△	—	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	1,000 世帯
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	—	

<目標指標の廃止>

【県事業】

県では、平成 29 年度（2017）以降登録世帯数が把握されていないため、この目標指標は廃止します。

(5) 学校版エコライフチャレンジしまね参加小中学校割合

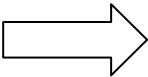
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
割 合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
基準年度値 (H23 年度)	100%						
中間目標値	→	→	→	→	→	100%	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100%
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	

＜現状分析＞

平成 23 年度(2011)以降、100%を維持しています。今後も、100%を維持する可能性は極めて高い状況です。

＜目標指標の改正＞

県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
100%		【参考指標】とする

(6) ISO14001、エコアクション 21 認証取得事業所数

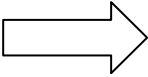
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
事業所数	33 事業所	49 事業所	47 事業所	45 事業所	38 事業所	39 事業所	
基準年度値 (H23 年度)	34 事業所						
中間目標値	→	→	→	→	→	40 事業所	
中間目標値達成状況	×	○	○	○	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	50 事業所
最終目標値達成状況	×	△	△	△	△	△	

＜現状分析＞

ISO14001、エコアクション 21 の取得には費用がかかるため、県でも積極的に推進されていないのが現状です。

＜目標指標の改正＞

ISO14001、エコアクション 21 の取得に係る補助金制度は、県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
50 事業所		【参考指標】とする

(7) 再生可能エネルギー導入市有施設数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
施設数	10 施設	12 施設	12 施設	13 施設	14 施設	14 施設	
基準年度値(H23 年度)	9 施設						
中間目標値	→	→	→	→	→	14 施設	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	16 施設
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

平成 28 年度(2016)以降、中間目標値を達成しています。

再生可能エネルギーについて、民間事業者によるメガソーラーなどの発電設備も含めると、市内の再生可能エネルギー発電設備（固定価格買取制度適用分）の合計出力は 148,946kW（平成 29 年(2017)3 月現在）で、県内で最大となっています。

地球温暖化防止のため引き続き導入を進めます。

(8) 再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数

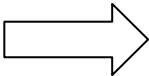
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
参加者数	51 人	160 人	167 人	160 人	142 人	339 人	
基準年度値(H23 年度)	0 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	100 人	
中間目標値達成状況	△	○	○	○	○	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100 人
最終目標値達成状況	○	○	○	○	○	○	

<現状分析>

平成 25 年度(2013)以降、中間目標値と最終目標値とも達成しています。平成 29 年度(2017)は、北山植栽事業を実施したため参加者数が増加しています。

<目標指標の改正>

引き続き、再生可能エネルギーに対する意識醸成を図るためのセミナーや市内にある再生可能エネルギー関連施設の見学会等を開催することとし、目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
100 人		150 人

5)「もったない」の心で築く 循環型のまち（循環型社会構築）

5-1 廃棄物対策と資源循環の推進

【中間目標値達成状況】

△項目：「ごみ排出量」

「ごみ最終処分量」

×項目：「ごみ再資源化量」

「リサイクル団体回収補助登録団体数」

【目標指標の見直し】

- 「ごみ排出量」、「ごみ再資源化量」、「ごみ最終処分量」、「リサイクル団体回収補助登録団体数」は、【継続】して状況を把握し、取組を推進します。

(1) ごみ排出量

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
排出量	61,764t	61,827 t	61,765 t	60,961 t	60,111 t	60,230t	
基準年度値(H23 年度)	62,632t						
中間目標値	→	→	→	→	→	60,117t	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	○	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	57,602t
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

＜現状分析＞

近年は排出量が減少傾向にありますが、平成29年度(2017)は増加に転じ、中間目標値を達成できませんでした。

引き続き、生ごみの水切りの徹底、ごみ減量化にかかる環境学習教室やごみ分別説明会を通してごみ排出量の削減を図ります。

(2) ごみ再資源化量

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
再資源化量	11,468t	10,439 t	9,735 t	9,124 t	8,116 t	7,475 t	
基準年度値(H23 年度)	12,239t						
中間目標値	→	→	→	→	→	13,543t	
中間目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	14,846t
最終目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	

※参考

項 目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
ごみ再資源化量	公用回収	11,468t	10,439 t	9,735 t	9,124 t	8,116 t
	民間回収	—	3,867 t	4,255 t	4,726 t	5,625 t
合 計	—	14,306 t	13,990 t	13,850 t	13,741 t	15,944 t

※民間回収の数値は、事業所への調査に回答があったもののみの合計値です。

＜現状分析＞

市の公用収集におけるごみ再資源化量は、民間のリサイクル回収（拠点）の増加に伴い減少傾向にありますが、引き続き公用収集によるごみ再資源化に努めます。

(3) ごみ最終処分量

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
最終処分量	8, 141t	8, 370 t	8, 299 t	8, 236 t	8, 788 t	8, 863 t	
基準年度値 (H23 年度)	9, 104t						
中間目標値	→	→	→	→	→	8, 539t	
中間目標値達成状況	○	○	○	○	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	7, 973t
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

平成 24 年度(2012)から平成 27 年度(2015)までは、中間目標を達成していましたが、平成 28 年度(2016)以降は達成できませんでした。

引き続き、ごみ排出量を削減し、ごみ再資源化量を拡大させることで、ごみ最終処分量の削減を図ります。

(4) リサイクル団体回収補助登録団体数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
団体数	99 団体	97 団体	93 団体	92 団体	88 団体	89 団体	
基準年度値 (H23 年度)	90 団体						
中間目標値	→	→	→	→	→	100 団体	
中間目標値達成状況	△	△	△	△	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100 団体
最終目標値達成状況	△	△	△	△	×	×	

<現状分析>

民間のリサイクル収集が広がりつつある中で、団体回収のメリット感が少なくなったことが一因であると考えます。

今後、本補助制度については、あり方を検討します。

5-2 環境と経済の好循環の推進

【中間目標値達成状況】

○項目：「しまねグリーン製品」登録製品数

×項目：「しまねエコショップ」登録店舗数

【目標指標の見直し】

- 「「しまねエコショップ」登録店舗数」、「しまねグリーン製品」登録製品数」は、県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

(1) 「しまねエコショップ」登録店舗数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
店舗数	26 店舗	29 店舗	24 店舗	18 店舗	18 店舗	27 店舗	
基準年度値 (H23 年度)	32 店舗						
中間目標値	→	→	→	→	→	36 店舗	
中間目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	40 店舗
最終目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	

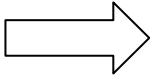
＜現状分析＞

【県事業】減少傾向にありましたが、平成29年度（2017）は増加しました。

＜目標指標の改正＞

県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

※県において「しまねエコショップ」は、業種を問わず環境にやさしい取組を実施する店舗を登録する制度へと見直しを行い、名称を「しまエコショップ」に変更をされる予定です。変更後は「「しまエコショップ」登録店舗数」とし、引き続き状況と実績値を把握します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
40 店舗		【参考指標】とする

(2) 「しまねグリーン製品」登録製品数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
製品数	46 製品	35 製品	44 製品	43 製品	44 製品	48 製品	
基準年度値 (H23 年度)	44 製品						
中間目標値	→	→	→	→	→	48 製品	
中間目標値達成状況	△	×	△	×	△	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	52 製品
最終目標値達成状況	△	×	△	×	△	△	

＜現状分析＞

【県事業】年々増加傾向にあります。

＜目標指標の改正＞

県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
52 製品		【参考指標】とする

6) とともに学び行動する 環境意識が高いまち（環境保全活動）

6-1 環境学習・環境保全活動の推進

【中間目標値達成状況】

○項目：「斐川環境学習センターの利用者数」

×項目：「ごみ減量化アドバイザーの派遣回数」、「こどもエコクラブ登録団体数」

【目標指標の見直し】

- 「ごみ減量化アドバイザーの派遣回数」は、【継続】して状況を把握し、取組を推進します。
- 「斐川環境学習センターの利用者数」は、最終目標値を達成していることから、更なる利用者増を目指し目標値を【改正】します。
- 「こどもエコクラブ登録団体数」は、公益財団法人日本環境協会の取組であるため、目標値を設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

(1) 斐川環境学習センターの利用者数

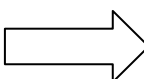
目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
利用者数	4,934 人	4,117 人	3,749 人	3,455 人	3,309 人	4,609 人	
基準年度値(H23 年度)	3,841 人						
中間目標値	→	→	→	→	→	4,000 人	
中間目標値達成状況	○	○	×	×	×	○	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	4,000 人
最終目標値達成状況	○	○	×	×	×	○	

＜現状分析＞

平成 29 年度(2017)には、中間目標値と最終目標値とも達成しました。

＜目標指標の改正＞

魅力ある環境講座や教室等を企画し、ホームページや広報紙を通じて市民の利用を呼びかけ、更なる利用者増を目指し目標値を改正します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
4,000 人		5,000 人

(2) ごみ減量化アドバイザーの派遣回数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
派遣回数	115 回	56 回	106 回	87 回	75 回	60 回	
基準年度値(H23 年度)	83 回						
中間目標値	→	→	→	→	→	100 回	
中間目標値達成状況	○	×	○	△	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	100 回
最終目標値達成状況	○	×	○	×	×	×	

＜現状分析＞

平成 29 年度(2017)には大幅に派遣回数が減少しました。

アドバイザーの講習、研修内容の充実を図り、今後、新規登録者の募集等を含めて「ごみ減量化アドバイザー」のPRを行います。

(3) こどもエコクラブ登録団体数

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
団体数	14 団体	11 団体	12 団体	11 団体	9 団体	9 団体	
基準年度値 (H23 年度)	19 団体						
中間目標値	→	→	→	→	→	25 団体	
中間目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	30 団体
最終目標値達成状況	×	×	×	×	×	×	

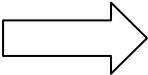
<現状分析>

年々減少傾向となっており、中間目標値は達成できませんでした。

平成25年度(2013)までは登録団体に対し補助金を交付していましたが、平成26年度(2014)から補助金を廃止したため、こどもエコクラブに加入するメリット感がなくなり加入数は減少傾向にあります。その一方で未加入の幼稚園等で独自に環境活動を実施されている状況です。

<目標指標の改正>

公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）の取組であるため、目標値は設定しないこととします。ただし、【参考指標】として引き続き状況と実績値を把握します。

現行最終目標値		変更後最終目標値
30 団体		【参考指標】とする

6-2 環境情報の提供と共有

【中間目標値達成状況】

△項目：「環境新聞の発刊」

【目標指標の見直し】

- 「環境新聞の発刊」は、【継続】して取組を推進します。

環境新聞の発刊

目標設定項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H34 年度
発刊数	年 38 回	年 19 回	年 29 回	年 25 回	年 28 回	年 24 回	
基準年度値 (H23 年度)	年 6 回						
中間目標値	→	→	→	→	→	年 30 回	
中間目標値達成状況	○	△	△	△	△	△	
最終目標値	→	→	→	→	→	→	年 40 回
最終目標値達成状況	△	△	△	△	△	△	

<現状分析>

年々増加していますが、わずかに中間目標値を達成できませんでした。

広報誌及びホームページ「出雲エコなび」を活用し、広報活動に努めます。

第2章 重点施策の推進

第2次出雲市環境基本計画の中間見直しにあたり、計画の策定年度（平成25年度（2013））から中間年度（平成29年度（2017））までの5年間の実績を基に施策の進捗状況を検証し、最終年度（平成34年度（2022））までの指標項目及び目標値を再設定しました。

この中間見直しで検証したことを踏まえ、計画最終年度（平成34年度（2022））までの5年間は二酸化炭素の排出量削減や大気環境・水環境の保全、循環型社会の構築に向け、現行計画で示す施策を継承するとともに、次の取組を重点施策として推進します。

1. 重点施策

1) 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち

1-1 大気環境の保全

＜重点施策＞

大気環境の状況を引き続き監視するほか、市の公用自動車更新時にはクリーンエネルギー車、低燃費・低排出ガス認定車の導入を進めます。

○クリーンエネルギー車、低燃費・低排出ガス認定車の導入

市公用自動車の更新時には、クリーンエネルギー車、低燃費・低排出ガス認定車を順次導入します。

1-2 水環境の保全

＜重点施策＞

近年、河川・海域の水質（BOD 又は COD）は、環境基準値又は市環境基準を満たしていますが、湖沼（宍道湖、神西湖）の水質（COD）は環境基準を満たしていない状況が続いています。市内の下水道普及率、水洗化率は一定水準に達しており生活排水の流入による影響については改善されてきていることから、雨水や海水の影響も受けていると考えられています。

水環境に対する市民の関心を高めるとともに、水質保全の取組を積極的に推進していきます。

○下水道（公共下水道、農業集落排水）、合併浄化槽などの整備推進

「出雲市污水处理施設整備計画」に基づき、効率的かつ計画的な取組を推進し、当初の最終目標値を上方修正し、水洗化率の向上を図ります。

○「神西湖水環境保全指針」に基づく水環境保全の取組

神西湖の水質は改善傾向にありますが、環境基準を達成していません。引き続き「神西湖水環境保全指針」に基づき、広域的かつ継続的な水質浄化に取り組めます。

○島根県の「第6期（平成26年度（2014）～平成30年度（2018））宍道湖・中海湖沼水質保全計画」の着実な推進

宍道湖の水質は、横ばい傾向であり環境基準を達成していません。引き続き「第6期宍道湖・中海湖沼水質保全計画」に基づいた水質保全に資する事業に取り組めます。

2) 人と自然がふれあい ともに生きるまち

2-2 豊かな自然とのふれあい

<重点施策>

自然環境の保全とともに、自然とのふれあいを通じて、自然環境の保全についての意識の高揚を図るため、自然体験活動の推進や、自然体験施設の利用を推進します。

5) 「もったいない」の心で築く 循環型のまち

5-1・2 廃棄物対策と資源循環の推進

<重点施策>

循環型社会構築のため3R（リデュース（廃棄物の抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化））を推進します。

○第2次出雲市ごみ処理基本計画の着実な推進

「第2次出雲市ごみ処理基本計画」に基づき、より一層のごみの減量・再資源化及び適正な処理の推進、また外国人が増加する中、多文化共生を図りながら、着実に施策を推進します。

資 料

1. 目標値達成状況及び最終目標値再設定一覧
2. 出雲市の環境の状況
3. 出雲市環境審議会委員名簿

目標値達成状況及び最終目標値再設定一覧

基本 目標	目標設定項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準年度値 (H23年度)	H29年度 実績値	中間目標値 (H29年度)	最終目標値 (H34年度)	見直し 方針	
1-1	大気汚染測定値 (SPM) (環境基準 0.10 mg/㎡)	中間年	○	○	○	○	○	未	0.015 mg/㎡ (H22年度)	環境基準値内 (H28年度)	環境基準値内	環境基準値内	【継続】	
		最終年	○	○	○	○	○	未						
	公用車へのクリーンエネルギー自動車導入率 (導入台数)	中間年	△	△	△	△	△	△	1.5% (8台)	3.2% (12台)	10.6% (58台)	19.6% (107台)	【改正】 ↑	
		最終年	△	△	△	△	△	△						
1-2	廃食油回収量	【改正】 近年の自動車の低燃費技術の向上のため、クリーンエネルギー車から低燃費かつ低排出ガス認定車へ定義を改め、目標値も改正します。												
		中間年	×	×	×	○	○	○	○	100%	100%	100%	100%	【継続】
		最終年	×	×	×	○	○	○	○					
		中間年	○	○	○	○	○	×	×	100%	91.6%	100%	100%	【継続】
		最終年	○	○	○	○	○	×	×					
		中間年	×	×	×	×	×	×	×	0%	0%	100%	100%	【継続】
		最終年	×	×	×	×	×	×	×					
		中間年	×	○	○	○	○	○	○	100%	100%	100%	100%	【継続】
		最終年	×	○	○	○	○	○	○					
		中間年	×	×	×	×	×	×	×	47,466ℓ	17,200ℓ	47,500ℓ	50,000ℓ	【改正】 ↓
		最終年	×	×	×	×	×	×	×					
		【改正】 生活スタイルの変化により油類を使用しなくなった結果、年々、回収量は減少しています。今後も回収量が増加する見込みがないため、平成29年度実績値を維持することとし、目標値を改正します。												
1-3	汚水処理人口普及率	中間年	△	△	○	○	○	○	77.8%	86.6%	83.8%	87.9%	【改正】 ↑	
		最終年	△	△	△	△	△	△						
	水洗化率 (接続率)	【改正】 「出雲市汚水処理施設整備計画 (既成計画)」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。												
		中間年	×	○	○	○	○	○	○	86.6%	91.0	88.0%	89.9%	【改正】 ↑
		最終年	×	×	×	○	○	○						
【改正】 「出雲市汚水処理施設整備計画 (既成計画)」に基づく効率的かつ計画的な取組を推進することとし、目標値を改正します。														
1-3	自動車騒音の環境基準達成率	中間年	×	×	○	○	○	○	100%	100%	100%	100%	【継続】	
		最終年	×	×	○	○	○	○						

基本 目標	目標設定項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準年度値 (H23年度)	H29年度 実績値	中間目標値 (H29年度)	最終目標値 (H34年度)	見直し 方針
1-3	航空機騒音の環境基準達成率	中間年 最終年	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	100% (22年度)	100%	100%	100%	【継続】
	ダイオキシンの環境基準達成率	中間年 最終年	× ×	○ ○	○ ○	○ ○	未 未	100% (22年度)	100% (H28年度)	100%	100%	【継続】
2-1	ホテルの生息が確認された地区 の割合	中間年 最終年	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	49%	74% (32地区)	51%	70%	【改正】 ↑
	【改正】 ホテルは種を問わず、良好な自然環境の指標として有効であることから、目標指標項目をゲンジボタルからホテル全種を対象とすることとし、目標値も改正します。											
2-2	市主催の自然体験事業の参加者数	中間年 最終年	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	10,462人	11,093人	10,500人	14,000人	【改正】 ↑
	【改正】 今後も、参加者増につながるようメニューの検討、広報等に努めることとし、目標値を改正します。											
2-3	自然体験市有施設の利用者数	中間年 最終年	× ×	○ ○	× ×	× ×	× ×	118,655人	111,710人	124,700人	130,800人	【継続】
	グリーンツーリズムの受入団体数	中間年 最終年	△ △	△ △	○ ○	○ ○	○ ○	6団体	8団体	7団体	8団体	【継続】
	森林整備面積（累計）	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	△ △	40ha	167ha	150ha	170ha	【継続】
	間伐等実施面積（累計）	中間年 最終年	△ △	△ △	○ ○	○ ○	○ ○	420ha	1,084ha	700ha	1,400ha	【改正】 ↑
	【改正】 今後も、市公有林及び民有林における間伐又は保育が適正に実施されない森林を中心に間伐等を推進することとし、目標値を改正します。											
	市産材取引量	中間年 最終年	△ △	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	2,700㎡	9,166㎡	3,600㎡	10,000㎡	【改正】 ↑
	【改正】 引き続き、森林組合及び林業事業体とともに、市産材を集荷・供給する仕組みづくりを進め、公共施設等における積極的な市産材利用を推進することとし、目標値を改正します。											

基本 目標	目標設定項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準年度値 (H23年度)	H29年度 実績値	中間目標値 (H29年度)	最終目標値 (H34年度)	新目標値 (H34年度)	見直し 方針	
2-3	新規林業就業者数（累計）	中間年	△	△	△	△	△	○	1人	11人	10人	12人	12人	【継続】	
		最終年	△	△	△	△	△	△							
	アグリビジネススクール累計修了 者数	中間年	△	△	△	△	△	△	251人	438人	491人	691人	691人	【継続】	
		最終年	△	△	△	△	△	△							
2-3	学校給食における地場産品の 利用割合	中間年	△	△	△	△	○	○	35%	56%	40%	45%	60%	【改正】 ↑	
		最終年	△	△	△	△	△	△							
		【改正】 これまで国が実施する地産地消調査の１７品目を対象としていましたが、本県での生産量が少ない品目を除いた県調査で用いる１１品目を対象とすることとし、目標値を改正します。													
		中間年	○	○	○	○	○	○	16.7㎡	17.1㎡	16.8㎡	17.0㎡	17.0㎡		【継続】
3-1	1人当たりの公園面積	最終年	△	△	△	△	○	○						【継続】	
	市主催の環境啓発イベント（ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなどの）参加者数	中間年	△	△	○	○	○	△	9,618人	12,102人	13,000人	14,000人	14,000人	【継続】	
			最終年	△	△	△	○	○	△						
		中間年	△	×	×	△	△	△	△	10,013人	10,030人	11,000人	12,000人	12,000人	【継続】
3-2		一斉清掃参加者数	最終年	△	×	×	△	△	△						【継続】
	美化サポータークラブ登録団体数	中間年	△	△	△	△	△	△	29団体	39団体	40団体	50団体	50団体	【継続】	
			最終年	△	△	△	△	△	△						
		市の事務及び事業から発生する CO2排出量	中間年	×	○	○	○	○	○	8,616t-CO2	7,664t-CO ₂	7,997t-CO2	7,757t-CO2	7,500t-CO2	【改正】 ↑
最終年			×	△	△	△	○	○	○						
【改正】 引き続きCO2の排出削減に努め、庁舎冷暖房の温度管理と温室管理、不要な照明の消灯など省エネルギーへの取組の徹底することとし、目標値を改正します。															
中間年	△		△	○	○	△	△	10,935,200kwh	10,370,227kwh	10,115,200kwh	9,732,300kwh	9,732,300kwh	【継続】		
4-1	市有施設（事務部門）の電気 使用量	最終年	△	△	△	△	△	△							

基本 目標	目標設定項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準年度値 (H23年度)	H29年度 実績値	中間目標値 (H29年度)	最終目標値 (H34年度)	見直し 方針
4-1	L E D防犯灯の設置基數	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	○ ○	401 基	3, 308 基	1, 888 基	3, 138 基	【改正】 ↑
		【改正】 更なるL E D化を推進することとし、目標値を改正します。										
	エコライフチャレンジしまね(環境 家計簿) 登録世帯数	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	— —	884 世帯	—	1, 000 世帯	1, 000 世帯	【廃止】
		【改正】 県では、平成29年度(2017)以降登録世帯数が把握されていないため、目標指標を廃止します。										
	学校版エコライフチャレンジしま ね参加小中学校割合	中間年 最終年	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	100%	100%	100%	100%	【参考 指標】
		【参考指標】 県の施策であるため目標値を設定しないこととします。 ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。										
	ISO14001、エコアクション21 認証 取得事業者数	中間年 最終年	× ×	○ △	○ △	○ △	△ △	34 事業所	39 事業所	40 事業所	50 事業所	【参考 指標】
		【参考指標】 ISO14001、エコアクション21の認定取得に係る補助金制度は県の施策であるため、目標値を設定しないこととします。 ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。										
	再生可能エネルギー導入市有施設 数	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	○ △	9 施設	14 施設	14 施設	16 施設	【継続】
	再生可能エネルギー普及啓発事業 への参加者数	中間年 最終年	△ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	0 人	339 人	100 人	150 人	【改正】 ↑
		【改正】 引き続き、再生可能エネルギーに対する意識醸成を図るためのセミナーや市内にある再生可能エネルギー関連施設の見学会等を開催する こととし、目標値を改正します。										
5-1	ごみ排出量	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	○ △	62, 632 t	60, 230t	60, 117 t	57, 602 t	【継続】
	ごみ再資源化量	中間年 最終年	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	12, 239 t	7, 475 t	13, 543 t	14, 846 t	【継続】

基本 目標	目標設定項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準年度値 (H23年度)	H29年度 実績値	中間目標値 (H29年度)	最終目標値 (H34年度)	新目標値 (H34年度)	見直し 方針
5-1	ごみ最終処分量	中間年 最終年	○ △	○ △	○ △	△ △	△ △	9,104 t	8,863 t	8,539 t	7,973 t	7,973 t	【継続】
	リサイクル団体回収補助 登録団体数	中間年 最終年	△ △	△ △	△ △	△ △	× ×	90 団体	89 団体	100 団体	100 団体	100 団体	【継続】
5-2	「しまねエコショップ」登録店舗数	中間年 最終年	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	32 団体	27 店舗	36 団体	40 団体	—	【参考 指標】
		【参考指標】 県の施策であるため目標値を設定しないこととします。ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。 ※県において「しまねエコショップ」は「しまエコショップ」へ制度の見直しと名称変更をされる予定です。変更後は「「しまエコショップ」登録店舗数」とし、引き続き状況と実績値を把握します。											
5-2	「しまねグリーン製品」登録製品数	中間年 最終年	△ △	× ×	△ △	× ×	○ △	44 製品	48 製品	48 製品	52 製品	—	【参考 指標】
		【参考指標】 県の施策であるため目標値を設定しないこととします。 ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。											
6-1	斐川環境学習センターの利用者数	中間年 最終年	○ ○	○ ○	× ×	× ×	○ ○	3,841 人	4,609 人	4,000 人	4,000 人	5,000 人	【改正】 ↑
		【改正】 魅力ある環境講座や教室等を企画し、ホームページや広報紙を通じて市民の利用を呼びかけ、更なる利用者増を目指し目標値を改正します。											
6-1	ごみ減量化アドバイザー等の 派遣回数	中間年 最終年	○ ○	× ×	○ ○	△ ×	× ×	83 回	60 回	100 回	100 回	100 回	【継続】
		中間年 最終年	× ×	× ×	× ×	× ×	× ×	19 団体	9 団体	25 団体	30 団体	—	【参考 指標】
6-2	環境新聞発刊	中間年 最終年	○ △	△ △	△ △	△ △	△ △	6 回	年 24 回	30 回	40 回	40 回	
		【参考指標】 公益財団法人日本環境協会の取組であるため、目標値は設定しないこととします。 ただし、参考指標として引き続き状況と実績値を把握します。											

出雲市の環境の現状

1) 生活環境

(1) 大気

表1 大気の環境基準達成状況

二酸化硫黄の環境基準達成状況

年度	環境基準達成状況		(参考) 年平均値 (ppm)
	短期的評価	長期的評価	
平成23年度	○	○	0.001
平成24年度	○	○	0.001
平成25年度	○	○	0.001
平成26年度	○	○	0.001
平成27年度	○	○	0.001
平成28年度	○	○	0.001
平成29年度	未	未	未

短期的評価: 1時間あるいは1日ごとの評価

長期的評価: 年間を通じた評価

窒素酸化物(NO+NO2)の環境基準達成状況

年度	環境基準 達成状況	(参考) 年平均値 (ppm)
平成23年度	○	0.004
平成24年度	○	0.005
平成25年度	○	0.003
平成26年度	○	0.003
平成27年度	○	0.003
平成28年度	○	0.002
平成29年度	未	未

浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準達成状況

年度	環境基準達成状況		(参考) 年平均値 (mg/m³)
	短期的評価	長期的評価	
平成23年度	○	○	0.014
平成24年度	○	○	0.016
平成25年度	○	○	0.017
平成26年度	○	○	0.014
平成27年度	○	○	0.013
平成28年度	○	○	0.012
平成29年度	未	未	未

短期的評価: 1時間あるいは1日ごとの評価

長期的評価: 年間を通じた評価

光化学オキシダント(Ox)の環境基準達成状況

年度	昼間の1時間の 年平均値(ppm)	昼間の1時間値 の最高値(ppm)	環境基準 達成状況
平成23年度	0.038	0.106	×
平成24年度	0.039	0.095	×
平成25年度	0.039	0.114	×
平成26年度	0.040	0.097	×
平成27年度	0.039	0.115	×
平成28年度	0.040	0.108	×
平成29年度	未	未	未

測定局: 出雲保健所

資料: 島根県環境生活部 大気汚染測定結果報告書

(2) 水質(河川)

図1 主要河川の環境基準達成状況－1 (BOD75%値)

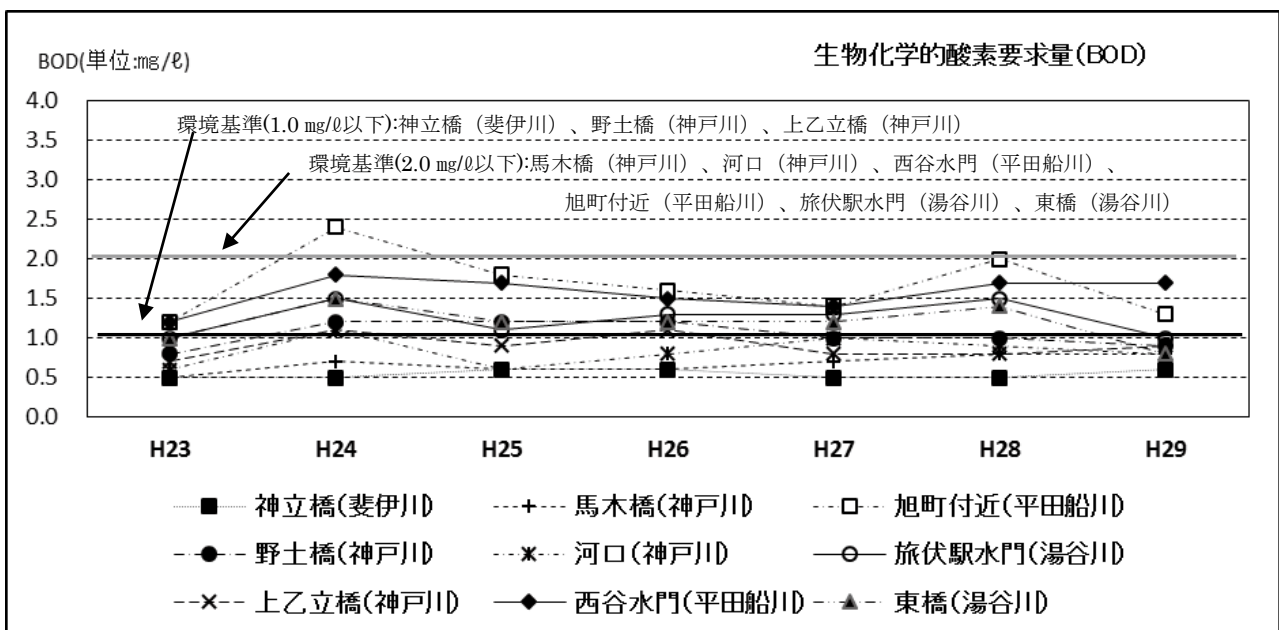


図2 その他河川の水質状況－1 (BOD75%値)

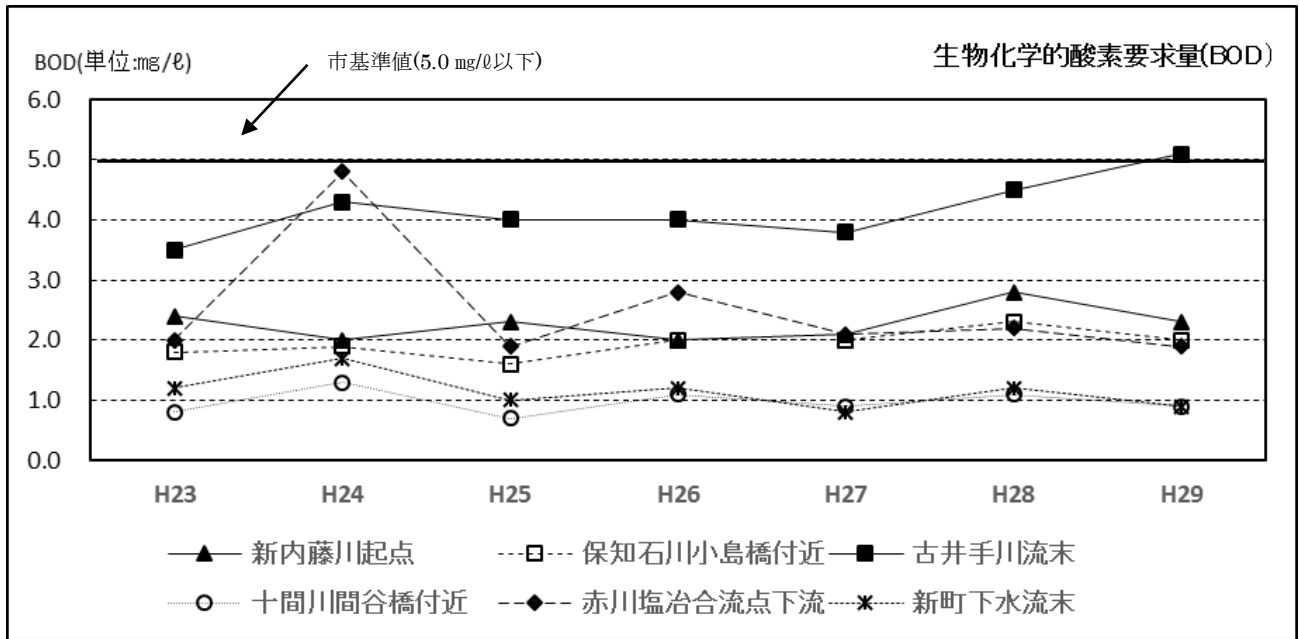
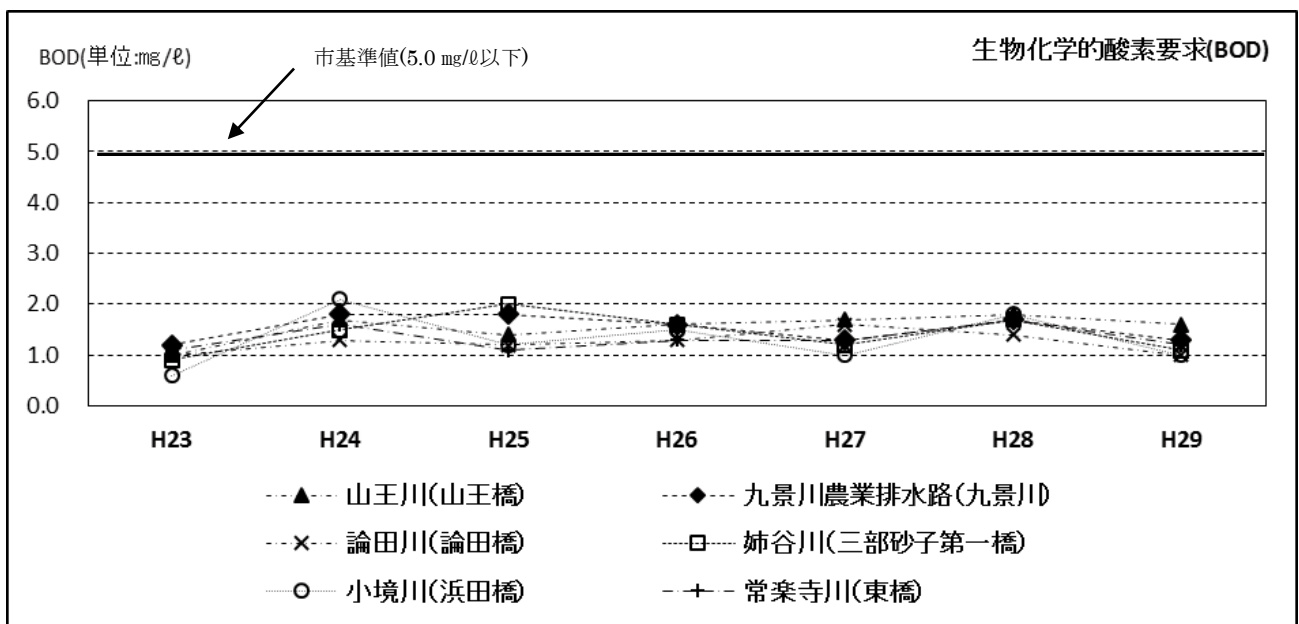


図3 その他河川の水質状況－2 (BOD75%値)



(3) 水質（湖沼・海域）

図4 宍道湖及び神西湖の環境基準達成状況（湖心）（COD75%値）

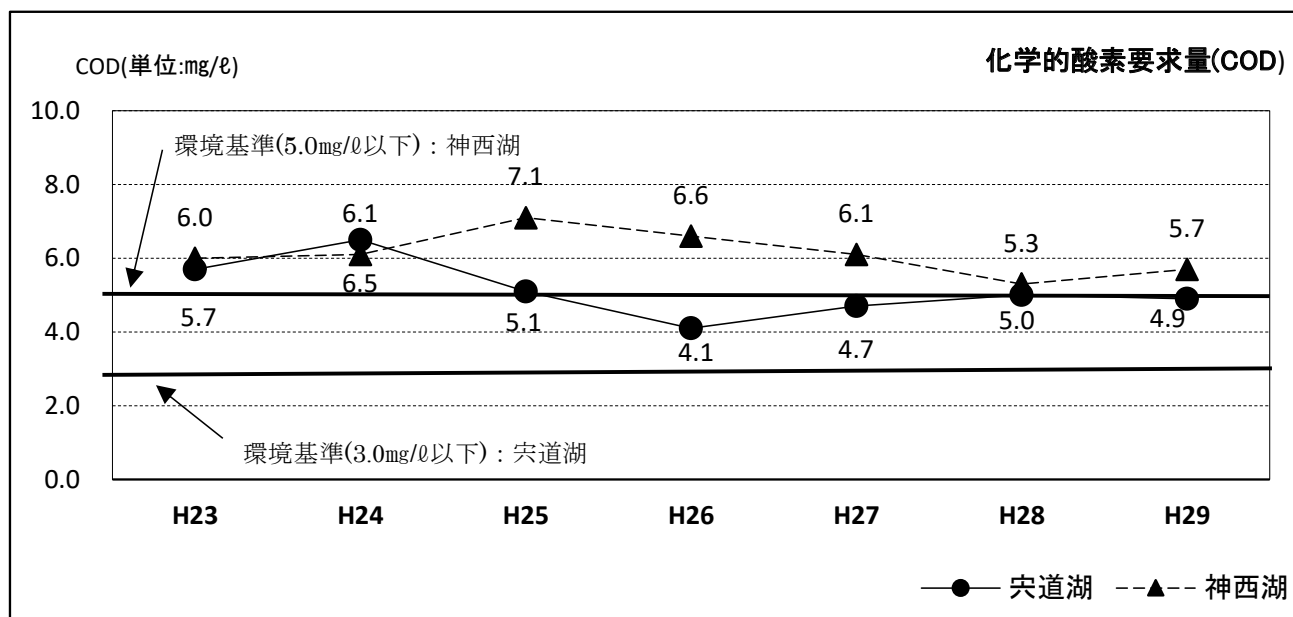


図5 宍道湖の環境基準達成状況（湖心）（全窒素・全りん）

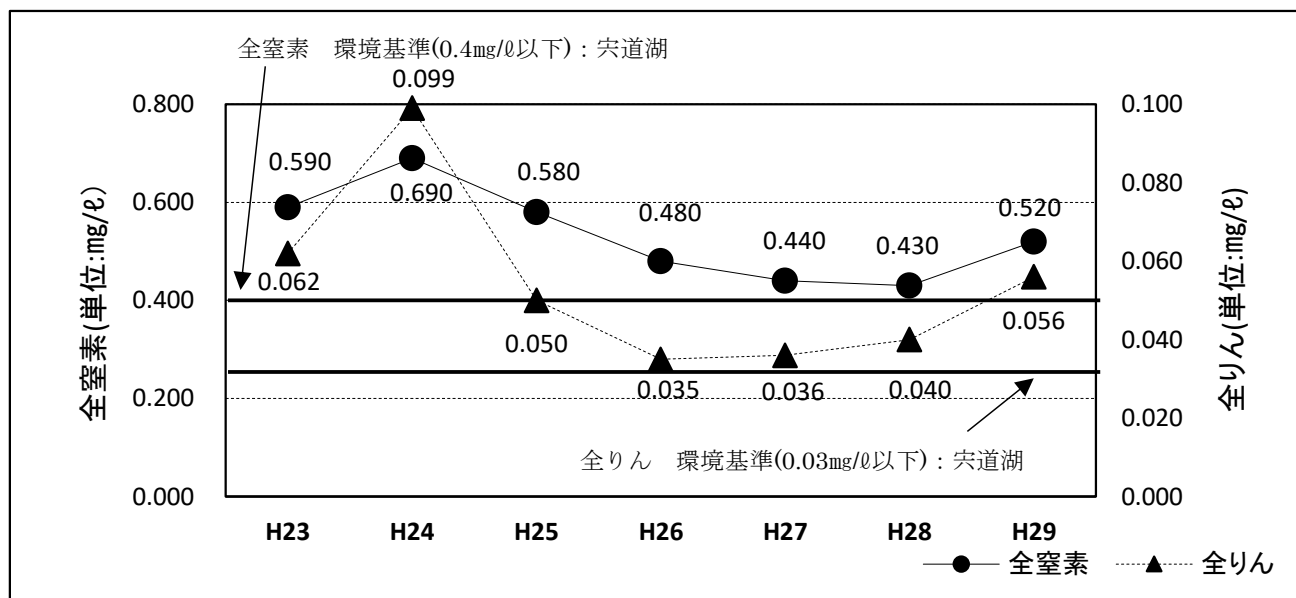


図6 神西湖の環境基準達成状況（湖心）（全窒素・全りん）

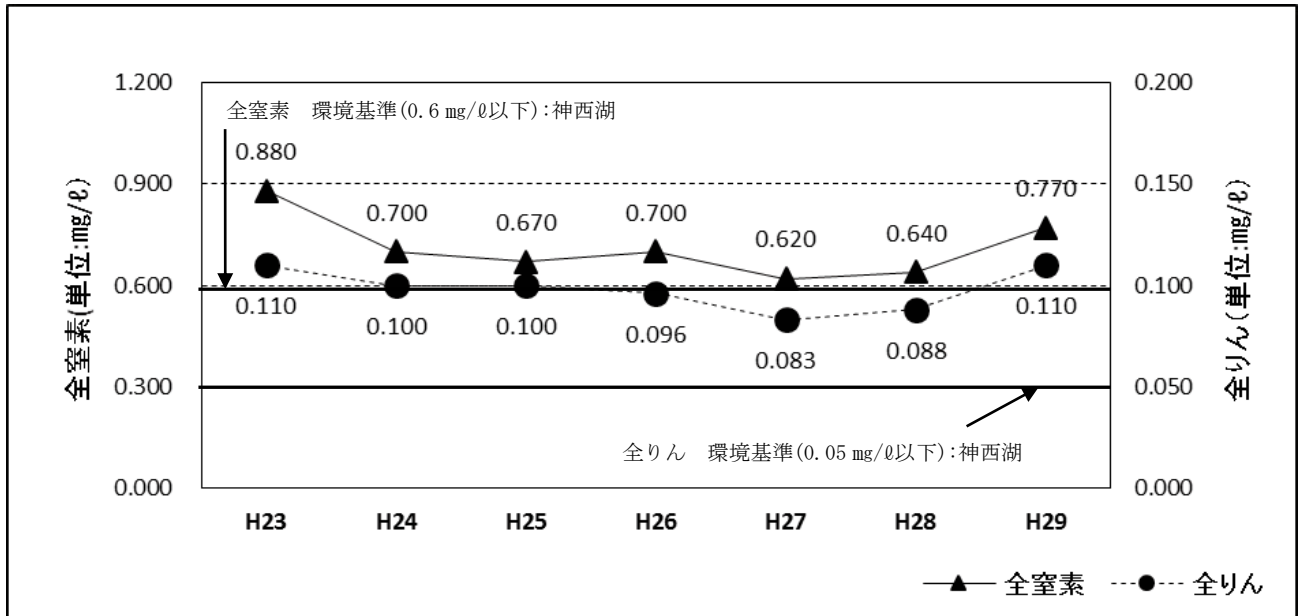
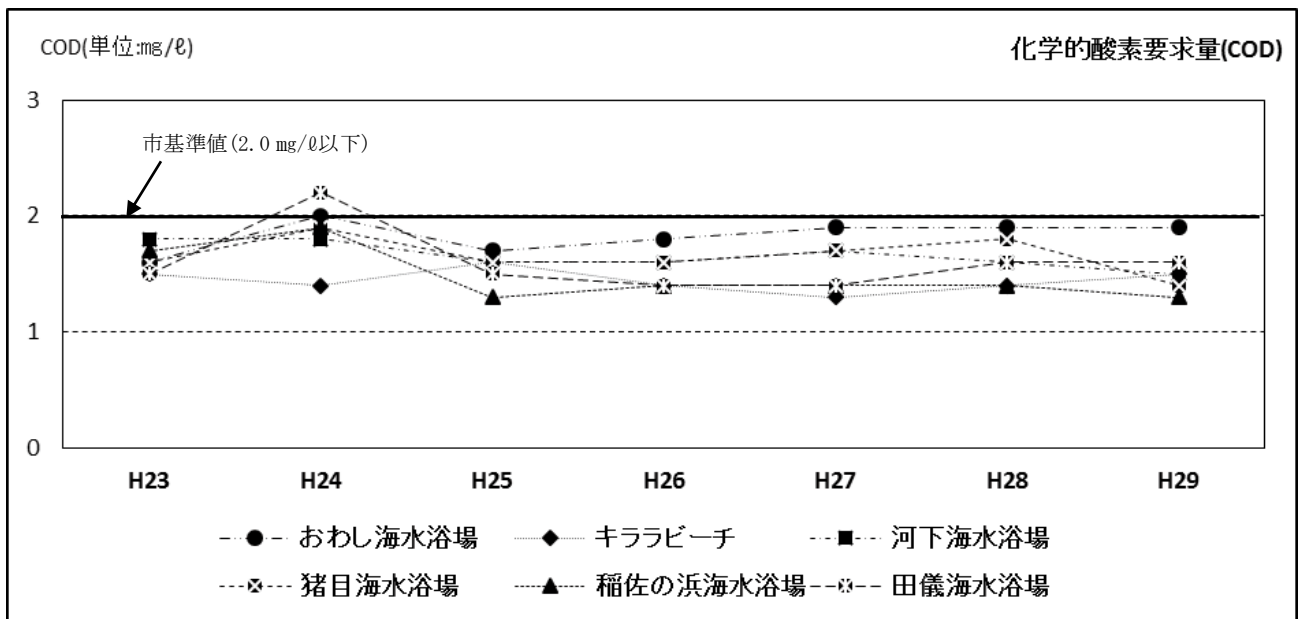


図7 海域水域（海水浴場）の市基準達成状況(COD 平均値)



(4) 上下水道の状況

表2 水道普及率（平成30年3月31日現在）

（単位：人、％）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	全市
行政区域内人口	93,789	25,101	3,407	3,532	5,327	14,708	29,356	175,220
給水区域内人口	93,739	25,101	3,343	3,512	5,315	14,701	29,356	175,067
給水人口	93,492	25,051	3,306	3,512	5,283	13,639	29,273	173,556
水道普及率	99.7%	99.8%	97.0%	99.4%	99.2%	92.7%	99.7%	99.1%

表3 下水道普及率（平成30年3月31日現在）

（単位：％）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	全市
公共下水道	23.8	5.5			2.4	4.9	9.1	45.7
特定環境保全 公共下水道		0.2		1.1				1.3
農業集落排水	4.5	2.9	1.3	0.7		1.2	6.1	16.7
漁業集落排水		1.3		0.1		0.4		1.8
浄化槽	14.6	3.4	0.5	0.1	0.4	1.0	1.0	21.0
コミュニティプラント	0.1							0.1
計	43.0	13.3	1.8	2.0	2.8	7.5	16.2	86.6

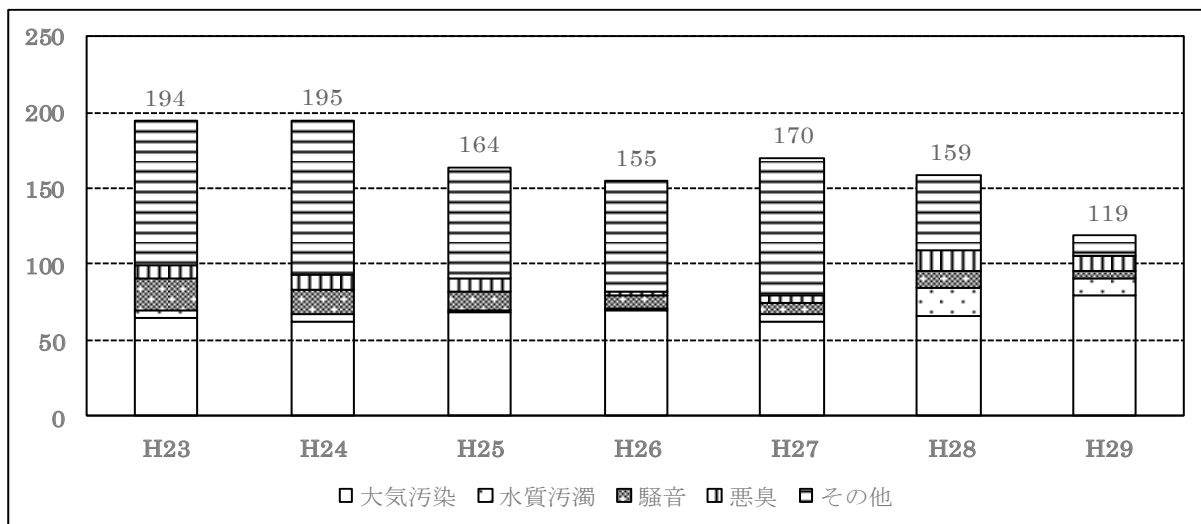
(5) ダイオキシン類

表4 ダイオキシン類常時監視及び行政検査結果（平成28年度）

項目	地点名	調査結果	環境基準
大気	出雲保健所 一般環境大気測定局	夏季: 0.01 pg-TEQ/m ³ 秋季: 0.009 pg-TEQ/m ³ 冬季: 0.015 pg-TEQ/m ³ 春季: 0.038 pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³
水質	平田船川	0.45 pg-TEQ/l	1 pg-TEQ/l
底質	平田船川	6.3 pg-TEQ/g	150 pg-TEQ/g
地下水	斐川町	0.22 pg-TEQ/l	1 pg-TEQ/l
大気基準適用施設	島根県農林水産部 畜産課畜産病性鑑定室	0.03 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N

(6) 公害苦情

図8 公害苦情件数の推移



2) 快適環境

(1) 公園緑地

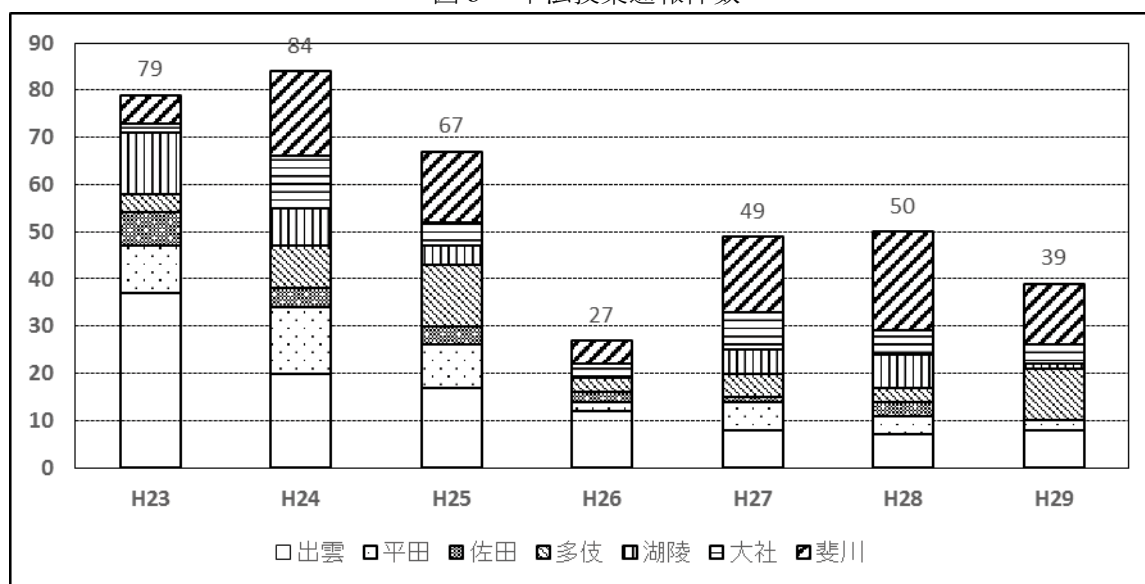
表5 公園面積（平成30年3月31日）

（単位：人、㎡）

地域	人口	都市公園	普通公園	その他公園	総計	1人当たり
出雲		890,700	108,613	163,240	1,162,553	
平田		289,025	15,608	88,092	392,725	
佐田		0	2,572	105,152	107,724	
多伎		0	201,619	56,273	257,892	
湖陵		114,601	465		115,066	
大社		327,400	1,314	45,333	374,047	
斐川		198,756	9,416	312,908	521,080	
総計	171,219	1,820,482	339,607	770,998	2,931,087	17.1

(2) 環境美化

図9 不法投棄通報件数



4) 廃棄物

図 1 0 ごみ総排出量の推移

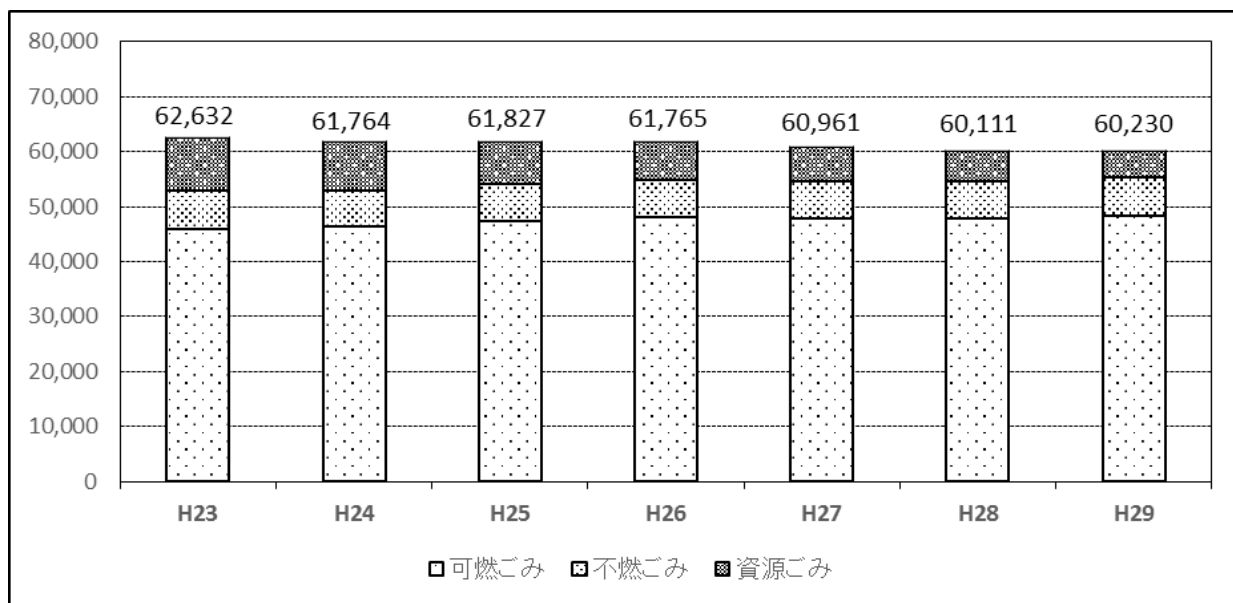
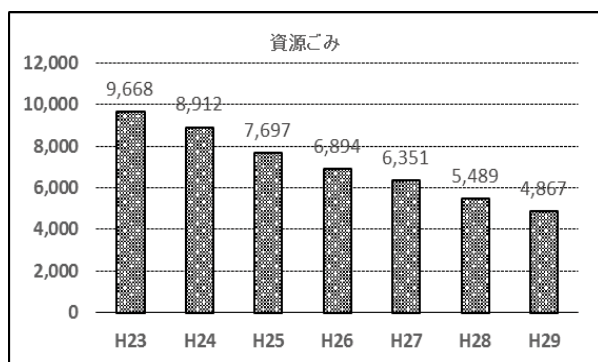
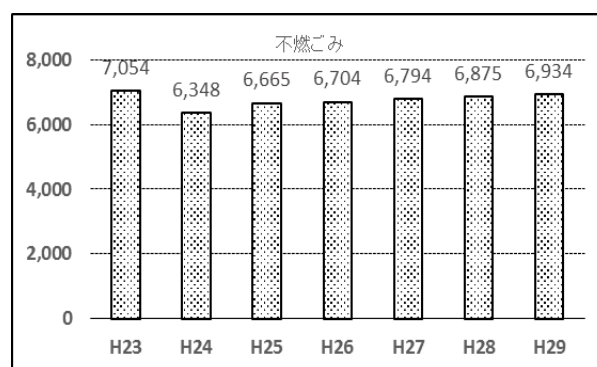
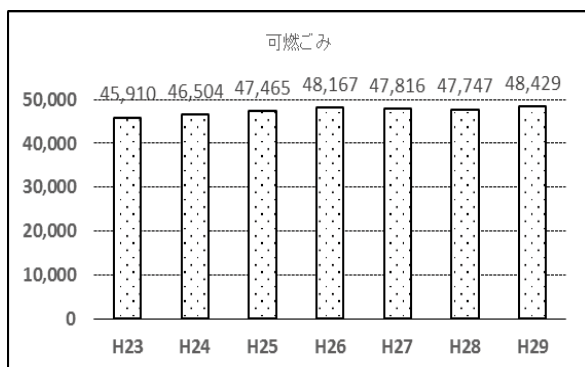


図 1 1 区分別ごみ排出量の推移



出雲市環境審議会委員名簿

【任期：平成30年(2018)8月1日～平成32年(2020)7月31日】

		氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	会 長	森 本 直 知	島根県地球温暖化対策協議会取組評価委員会委員長
2	副 会 長	吾 郷 美 奈 恵	島根県立大学教授
3	委 員	糸 原 直 彦	出雲商工会議所専務理事
4	委 員	岩 崎 知 久	環境省環境カウンセラー
5	委 員	岡 田 達 文	島根県農業協同組合出雲地区本部常務理事副本部長
6	委 員	烏 田 富 夫	出雲市環境保全連合会久多美支部 支部長
7	委 員	岸 野 聡	中国電力株式会社出雲営業所長
8	委 員	甲 山 美 紀 恵	大社地域自治協会連合会理事
9	委 員	島 林 益 三	出雲市環境保全連合会多伎支部環境美化活動推進員代表
10	委 員	清 水 康 子	元平田地域協議会副会長
11	委 員	園 山 純	前島根県不法投棄監視モニター
12	委 員	野 津 雅 子	島根県地球温暖化防止活動推進員
13	委 員	林 淑 恵	前西野幼稚園愛育会サポーター
14	委 員	福 田 実	出雲市コミュニティセンター長会理事・ 久多美コミュニティセンター長
15	委 員	山 田 康 弘	出雲市環境保全連合会副会長・同伊波野支部会長
16	委 員	山 根 宏	出雲保健所環境衛生部環境保全課長
17	委 員	米 原 誠	C E A R 環境マネジメントシステム審査員
18	委 員	渡 部 勝	出雲市議会環境経済委員会委員長
19	委 員	湯 浅 啓 史	出雲市議会環境経済委員会副委員長

